



V2Hユニット ^{アイビス} “EIBS Va-1”

型名

EPJ-S60EV

取扱説明書

このたびはダイヤゼブラ電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「安全上のご注意」(4、5ページ) を必ずお読みください。
 - この取扱説明書は、いつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。
 - 同梱されています緊急離脱工具は、いつでも使用できるように、大切に保管してください。
-

車両搭載蓄電池を活用した暮らしへ

| 車両への充電、車両からご家庭への電力供給ができます

商用電源（系統）に接続し車両へ充電を行います。また、車両から家庭で使用している電気機器に電力供給を行います。車両からの放電電力が家庭内の電気機器の消費電力より少ないとき、不足分は商用電源から補われます。車両からの放電電力の逆潮流を検出すると、車両からの放電を抑制します。

| 生活スタイルに合わせたシステムモードが選べます ▶7ページ

■ ノーマルモード

電力量料金単価が安い時間帯に商用電源から充電し、通常料金時間帯に車両に蓄えた電力を放電することで商用電源のピーク抑制を行います。

■ 節エネモード

車両に蓄えた電力を放電することで、商用電源からの買電量を低減します。

■ 蓄電モード

停電に備えて、車両を常に満充電にしておくことができます。

■ スマートモード

通常料金時間帯は車両からの放電を行い、電力量料金単価が安い時間帯に商用電源から充電することで、商用電源からの買電量を低減します。

■ インテリジェント（AI）モード

家庭内の電力使用量についてインターネット回線を使用しCloud上でAIが管理分析を行い、AIが日々の使用電力を予測、学習することで電力を賢く使用します。

※V2HユニットをV2Xモードに設定すると、システムモードに応じた充放電を行います。

※インテリジェント（AI）モードをご使用いただくには、別途enenowaサービスへの加入が必要となります。

| 停電時には、車両電力による自立運転を行うことができます

自立運転について ▶30ページ

商用電源が停電した場合、車両電力による自立運転を行うことができます。

（手動による自立運転開始操作が必要です。）

自立運転について（停電時）（ 30ページ）をご確認のうえ、ご使用ください。

| V2Hのモードが選べます

■ 充電モード

車両が満充電になるまで、車両を充電するモードです。車両が満充電になるとV2Hユニットは自動的に待機状態になります。放電非対応の車両を接続した場合、設定した電力で充電を行います。

■ V2Xモード

車両を蓄電池として利用するモードです。

放電非対応の車両を接続した場合は、V2Xモードでの動作は行えません。

もくじ

安全上のご注意	4
システムの概要	6
システムモードの説明と仕組み	7
各部の名前	10
使用上のお願い	11
インターネットへの接続を設定する	13
はじめてお使いになるときは	14
V2H ユニット操作方法	16
車両との接続方法	20
車両への充電方法	21
車両充電の終了方法	23
V2X モードの操作方法	24
V2X モードの終了方法	26
充放電コネクタの緊急解除について	27
自立運転について（停電時）	30
ブラックスタート機能	32
こんなときは（メッセージ一覧）	36
点検とお手入れのしかた	41
よくあるご質問	42
仕様	44

安全上のご注意

必ずお守りください

確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 実行してはならない内容です。

 実行しなければならない内容です。

■ 取扱いについて

 警告			
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● V2Hユニットのトップカバーを外さない。また、製品の分解や改造をしない。火災・感電・やけど・けが・故障の原因となります。● 製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしない。けが・感電・故障の原因となります。	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● V2Hユニットからこげ臭いにおいがするときは、V2Hユニットの緊急停止ボタンを押下して連系ブレーカを「OFF」にし、離れて状態監視する。そのまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 製品に強い衝撃を与えない。発熱・発火・火災のおそれがあります。		<ul style="list-style-type: none">● V2Hユニットから白煙ほか煙が大量に出ている場合は、煙を吸い込まないようにその場所から即時離れて消防に通報する。
	<ul style="list-style-type: none">● 製品に水をかけない。感電の原因となります。		<ul style="list-style-type: none">● V2Hユニットが浸水した場合は感電のおそれがあるため本体に手を触れずに、V2Hユニットの緊急停止ボタンを押下して連系ブレーカを「OFF」にする。そのまま運転を続けると感電や火災の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 濡れた手で触らない。感電の原因となります。		<ul style="list-style-type: none">● ペースメーカー・ICDなどを使用されている方はV2Hユニットに近づかない。ペースメーカー・ICDに悪影響を与える原因となります。
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none">● 災害発生時や雷鳴時には製品に手を触れない。感電・けが・やけどの原因となります。		

 注意			
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 製品の上に物を置かない。V2Hユニットの天面に物を置いたり、テーブルクロス・タオルなどをかけないでください。内部温度が上昇して、火災・故障・寿命低下の原因となります。	 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 高い温度（45℃超過）でV2Hユニットを使用しない。故障や寿命低下の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 充放電コネクタやブラックスタートケーブルを車両に挿したまま発進しない。車両を動かす際は必ず、充放電コネクタおよびブラックスタートケーブルを車両から取り外してください。思わぬ事故の原因となります。	 接触禁止	<ul style="list-style-type: none">● 製品の運転中は不用意に手をふれない。機器の運転中は温度が上昇するため、不用意に手をふれないでください。やけどの原因となることがあります。特にお子様、お年寄りのいるご家庭ではお気を付けてください。

■ 自立運転を行う場合

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● コンセントに以下の製品をつながない。 電源が切れると生命や身体を害したり、財産に損害を受けるおそれのある機器は、ご使用にならないでください。 自立運転の最大出力電力は200V出力時5.5kVAで、100V出力時は2.75kVAが2系統の合計5.5kVAです。 (電源切替ボックスを使用しない場合は、最大出力電力は100Vが1系統で1.5kVAとなります。)● 使用する機器の消費電力が最大出力を超える場合は運転を停止します。

 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 自立運転開始後に異臭や異音がした場合は、ただちにV2Hユニットの運転を停止する。● 商用電源が停電するとV2Hユニットは停止します。 地震等のあとは、家電製品の安全を確認してからV2Hユニットの運転を再開してください。● 災害時、避難をする場合は安全のため、V2Hユニットの運転を停止する。

■ 近くではしてはいけないこと

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を近くで使用しない。 火災・故障の原因となります。● 殺虫剤などの可燃性ガスを近くで使用しない。 引火し、やけどや火災の原因となります。● 水や油の出る機器を近くで使用しない。 感電・漏電・故障の原因となります。● 近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない。 火災・故障の原因となります。

免責事項

- お客様もしくは第三者が本製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- 本製品の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本製品の故障によって生じた本製品以外の直接・間接の損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 本製品の不具合など何らかの原因で、車両内記憶装置・外部メディア・記録機器などに記録できなかった場合やそれらに既に記録されていた機器内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。

以上、あらかじめご了承ください。

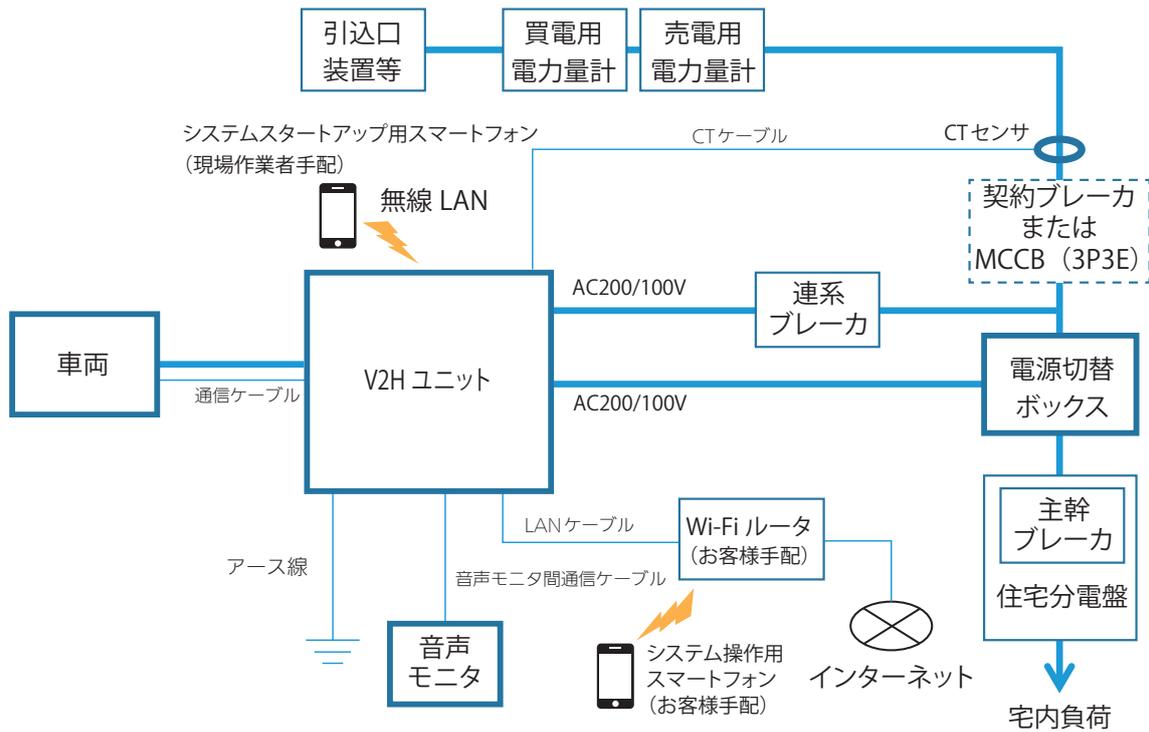
システムの概要

V2Hユニット（パワーコンディショナ）の標準的な構成は下図の通りです。

本書では、下図の構成に基づいて説明していますので、構成が異なる場合は適宜読み替えてください。

- ・V2Hユニットに車両、電源切替ボックスを組合せ、商用電源停電時にも宅内負荷に電気を供給します。
- ・音声モニタがシステムのコントローラになります。
- ・スマートフォンアプリをご使用可能なサービスに加入されているお客様は、お手持ちのスマートフォンをコントローラにすることもできます。

※音声モニタの操作方法につきましては音声モニタの取扱説明書をご参照ください。



システムモードの説明と仕組み

V2Xモードで動かしているときに適用されるシステムモードとなります。

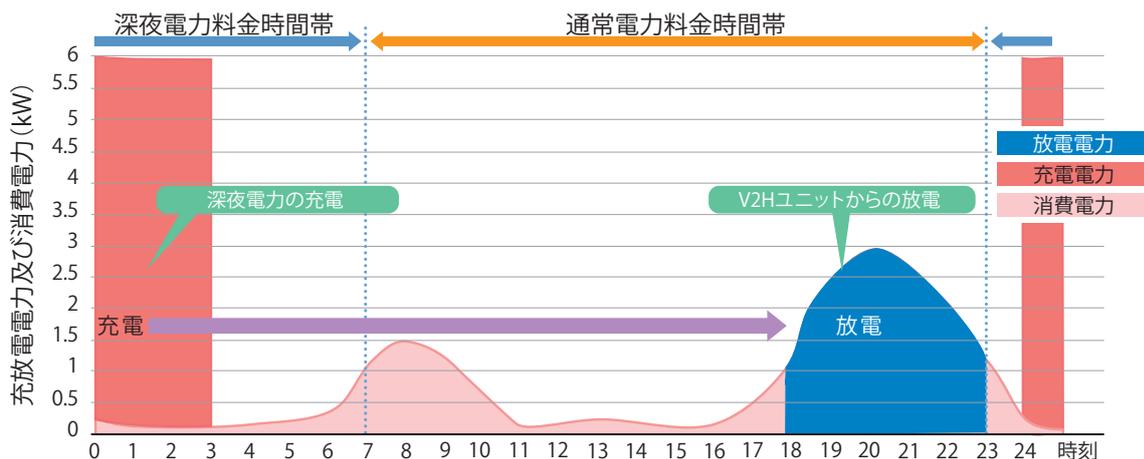
5通りのシステムモードでご使用いただけます。

切り替える場合は音声モニタの取扱説明書をご参照ください。

ノーマルモード

時間帯別料金契約の場合

あらかじめ設定（音声モニタの取扱説明書を参照）した充電時間帯、放電時間帯でV2Hユニットの充放電を行います。電力量料金単価が安い時間帯に充電して、蓄えられた電力を通常料金時間帯に放電することで「ピーク電力抑制」および「買電料金の抑制」につながります。



充電のしかた

予め設定した充電時間帯になったら料金の安い電力を購入して充電します。
※車両によっては制限がかかり設定した残量上限（音声モニタの取扱説明書を参照）まで充電されない場合があります。

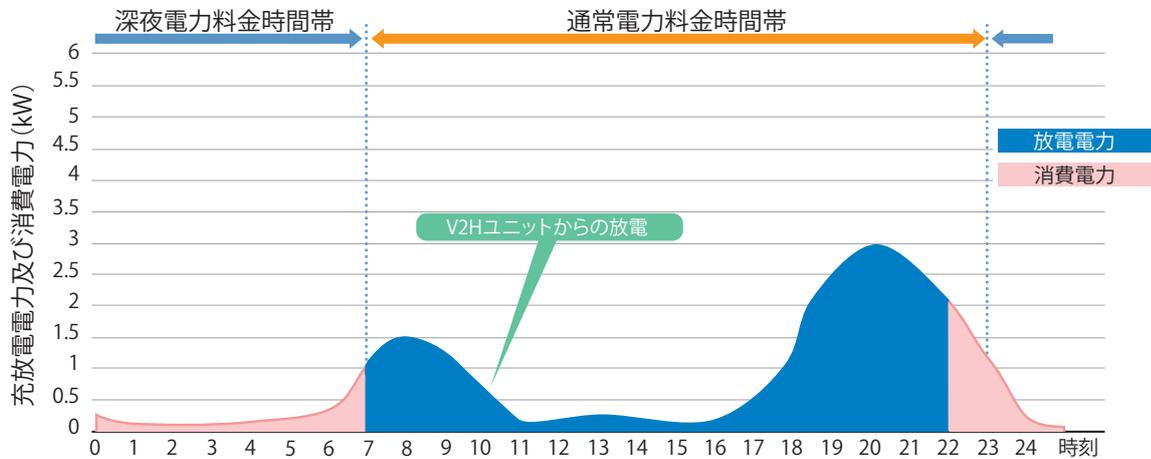
放電のしかた

放電時間帯になったらV2Hユニットから放電します。
ただし、V2Hユニットからの放電でも電力が足りないときは電力会社から購入します。
※車両によっては制限がかかり設定した残量下限（音声モニタの取扱説明書を参照）まで放電されない場合があります。

システムモードの説明と仕組み（つづき）

節エネモード

充放電時間を設定せず、消費電力をV2Hユニットからの放電で補います。



充電のしかた

車両電池の残量が、V2Xモードで設定した残量目標（音声モニタの取扱説明書を参照）を下回っている場合は、充電を行います。

※車両によっては制限がかかり設定した残量上限（音声モニタの取扱説明書を参照）まで充電されない場合があります。

放電のしかた

消費電力がある場合、V2Hユニットから放電します。

V2Hユニットからの放電でも電力が足りないときは電力会社から購入します。

※車両によっては制限がかかり設定した残量下限（音声モニタの取扱説明書を参照）まで放電されない場合があります。

蓄電モード

V2Xモードに設定している車両が満充電になるまで充電を行い、充電完了後は放電せずに停電に備えます。

車両の残量表示には誤差があるため、100%の表示にならないことがあります。

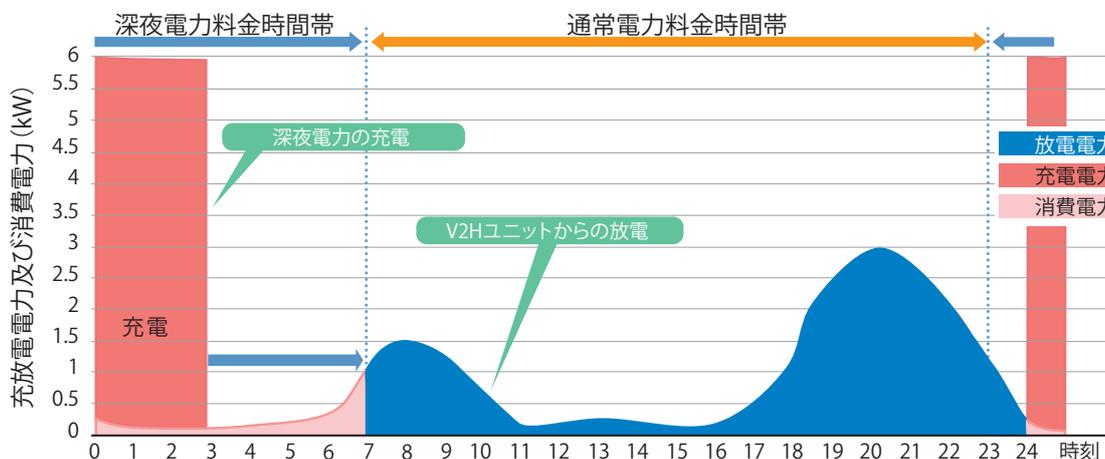
車両によっては、制限がかかり100%まで充電されない場合があります。

計画停電時などの非常用電源として使用する場合は、常に満充電状態を保つ蓄電モードを推奨します。

他のモードで運用している場合も、停電が予想されているときは、あらかじめ蓄電モードに変更し、満充電状態で停電に備えることができます。

スマートモード

充電時間帯を設定し、それ以外の時間帯は節エネモードと同じ動作をします。電力量料金単価が安い時間帯に充電して、蓄えられた電力を通常料金時間帯に放電することで「ピーク電力抑制」および「買電料金の抑制」につながります。



充電のしかた

予め設定した充電時間帯になったら料金の安い電力を購入して充電します。
※車両によっては制限がかかり設定した上限値（音声モニタの取扱説明書を参照）まで充電されない場合があります。

放電のしかた

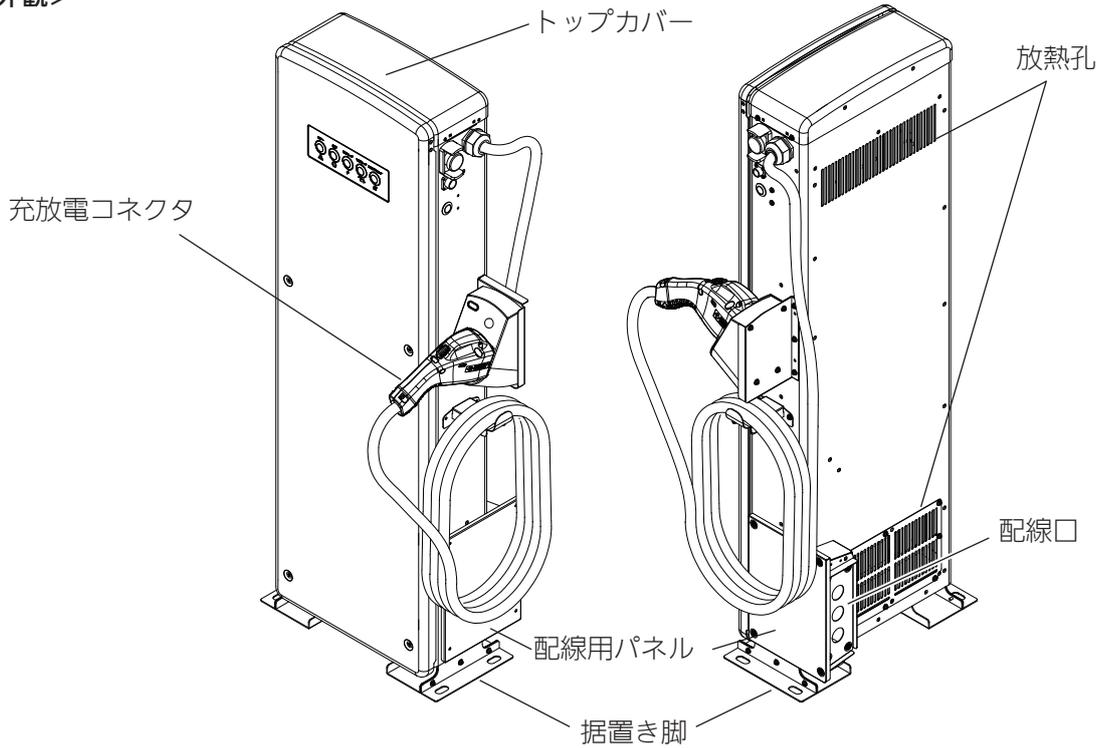
消費電力がある場合、V2Hユニットから放電します。
V2Hユニットからの放電でも電力が足りないときは電力会社から購入します。
※車両によっては制限がかかり設定した残量下限（音声モニタの取扱説明書を参照）まで放電されない場合があります。

インテリジェント（AI）モード

家庭内の電力使用量についてインターネット回線を使用しCloud上でAIが管理分析を行います。
AIが日々の使用電力を予測、学習することで電力を賢く使用します。
※インテリジェント（AI）モードをご使用いただくには、別途enenowaサービスへの加入が必要となります。

各部の名前

<外観>



名称	備考
トップカバー	通常は開閉しません。(開閉すると保証の対象外となります)
充放電コネクタ	車両の専用口へ接続するコネクタです。
据置き脚	基礎工事のあとアンカーボルト固定に使用します。
放熱孔	機器放熱のための開口部です。
配線口	接続するケーブルを通す穴です。(開口部穴径φ34×3) 配線工事のときは、防水シートを剥がし、防水パッキン、防水タイプPF管用ボックスコネクタ (アングルタイプ)、PF管を取り付けてください。
配線用パネル	配線工事のときに開閉します。
① エラー表示ランプ	V2Hユニットが何らかの異常を検知した時や緊急停止ボタンが押されたときに、点灯または点滅します。
② 待機ボタン	V2Hユニットを待機状態にするボタンです。待機状態のときに点灯または省電力表示になります。
③ 充電モードボタン	充電モードにするボタンです。充電モードのときに点灯または省電力表示になります。
④ V2Xモードボタン	V2Xモードにするボタンです。V2Xモードのときに点灯または省電力表示になります。
⑤ コネクタロックボタン	充放電コネクタと車両をロック状態にするボタンです。ロック状態の際に点灯または省電力表示になります。
⑥ 緊急停止ボタン	異常や危険を感じたときに押すことでV2Hスタンドの動作を緊急停止させます。ボタンはラッチ型のため解除操作を行うまで保持されます。
⑦ ブラックスタート用コネクタ	ブラックスタート時にブラックスタート用ケーブルを接続するコネクタです。
⑧ 停電時起動ボタン	ブラックスタートの起動用ボタンです。

使用上のお願い

V2Hユニットは屋内/屋外用です。

■ V2Hユニットの周辺は以下の状態にしてください。

- 油煙・ほこりが少ないこと
- 腐食性ガス・液体がかからない状態

■ 電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品をV2Hユニットの近くで使用しないでください。

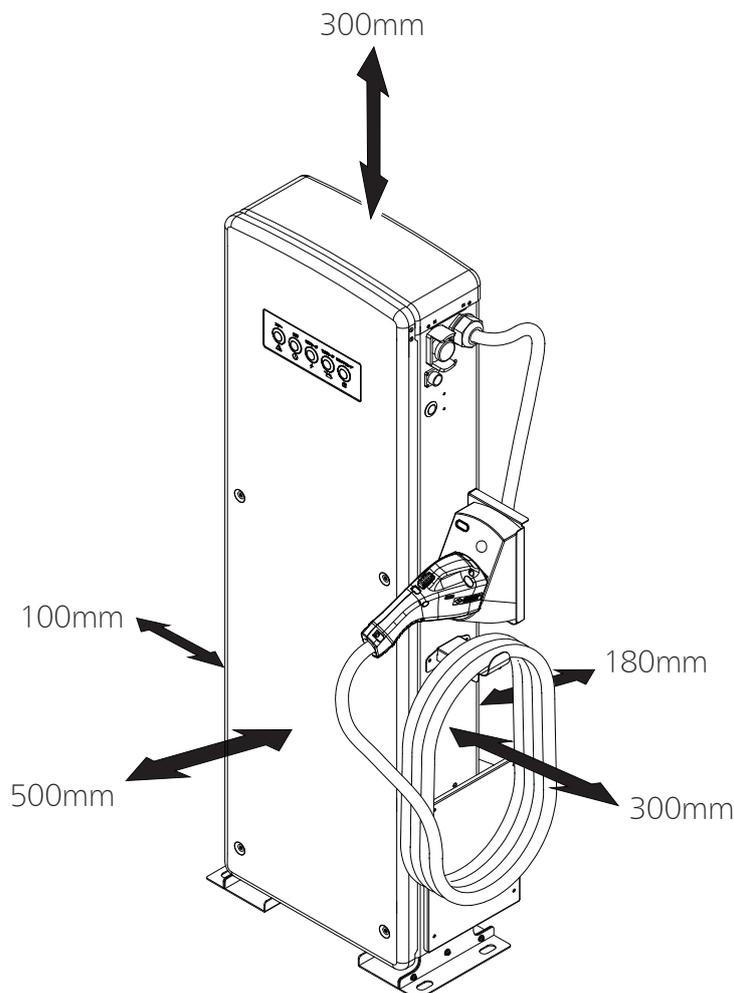
- 電気製品の正常な動作ができなくなる原因となります。

■ 受信障害を避けるため、ラジオ・携帯電話の通話機能などは機器の近くでご使用にならないでください。

■ テレビおよびアマチュア無線のアンテナが近くにある場所、防災無線に影響を及ぼす場所への設置を行わないでください。

■ V2Hユニットの周囲には、点検スペースおよび放熱スペースとして以下のスペースを確保してください。

※V2Hユニットの背面にある放熱孔を塞がないでください。V2Hユニットが正しく機能しない場合があります。



お知らせ（知っておいていただきたいこと）

■ 車両への充放電

車両の蓄電池残量が残量下限以下の場合、充電を優先します。

契約アンペア設定が低く設定されているときは車両へ十分に充電できない可能性があります。

車両からの充放電量が少ない場合、車両からの要求で充放電が停止されることがあります。

再度、充放電させるには充放電コネクタの抜き差しを行う必要があります。

■ システム待機状態

車両に対して充放電動作をする必要がない場合、消費電力を抑えるために、システムが一時的に停止します。

※システム待機状態では音声モニタの表示が連系準備中となります。

ご注意

- 車両が満充電のときは充電しません。
- 車両の放電中も電力会社から常に0.1kW以上の電力を購入します。

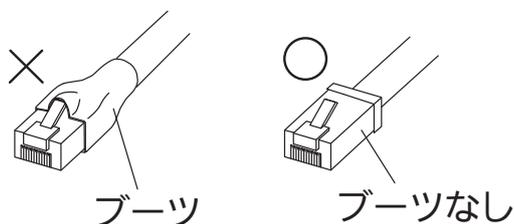
インターネットへの接続を設定する

インターネットに接続することでシステムのソフトウェアを常に最新の状態に保つことができます。

インターネットへの接続方法

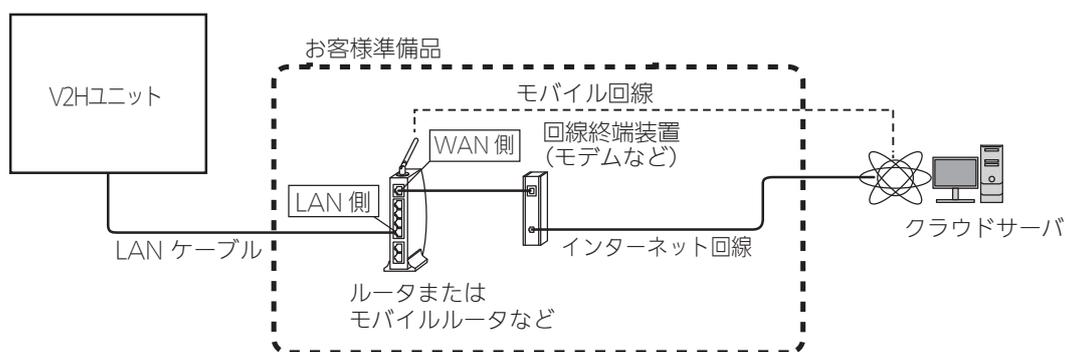
1. 事前準備（お客様がご用意するもの）

- **インターネット（ブロードバンド）回線**
光回線、ADSL、ケーブルTVネットワーク、モバイル回線など、常時接続のブロードバンド回線が必要です。
- **ブロードバンドルータ**
接続機器として有線LAN接続が可能なブロードバンドルータまたは5G/4G/LTEルータが必要です。
アクセスポイント、子機を用いたルータとの無線通信は推奨しません。親機への有線接続を行ってください。
- **LAN ケーブル**
市販品のLANケーブルをお買い求めいただく場合には、カテゴリ5以上のストレートケーブルをご用意ください。
※LANケーブルは、ブーツのないものを使用してください。
ブーツ付きの場合、ブーツの部分が取付金具と接触し、取り付けができません。



2. 器具の接続

■ インターネット配線と器具接続の概略図



はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、施工会社に「準備する」の実施をご依頼ください。(2はお客様にてご対応ください)

準備する

V2Hユニットを運転可能な状態にします

1 V2Hユニットを運転可能な状態にします。

- ① MCCBまたは契約ブレーカがある場合は、「ON」にしてください。
- ② 住宅分電盤の主幹ブレーカを「ON」にしてください。
- ③ 宅内配電盤で使用する子ブレーカを「ON」にしてください。
- ④ 連系ブレーカを「ON」にしてください。

2 常時接続インターネット回線の確認

宅内にV2HユニットからのLANケーブルを接続できるWi-Fiルーターがあり、インターネットが使用できることを確認してください。

- ① インターネットに接続でき、有線LANポートが1つ以上あるWi-Fiルーターがある。
⇒ V2HユニットからのLANケーブルが配線してあることを確認してください。
- ② インターネットに接続できる環境にあるがルーターに有線LANポートが無い。
⇒ 有線LANポートが1つ以上あるWi-Fiルーターを準備していただき、V2HユニットからのLANケーブルを配線してください。

3 「enenowaサービス」に加入されている場合

V2Hユニットは「enenowaサービス」に加入されている場合、スマートフォンで運転操作ができます。スマートフォンで下記URL、QRコードにアクセスしインストールしてください。

新規登録またはログインをしてください。

- ・ アプリダウンロード～登録マニュアル＋ユーザーガイド

<https://www.energy-gateway.co.jp/news/downloads/bedc/0002.pdf>



■ 抑制運転について

「温度保護」が表示されたら

V2Hユニットの内部温度が高くなりすぎると、機器に悪影響を与えます。V2Hユニットの内部の温度上昇を防ぐため、「温度保護」を表示して、出力電力を一時的に抑えます。温度が正常運転範囲に戻ると出力の抑制が解除され、表示は消えます。

⇒「温度保護」が頻繁に表示されたり、長時間消えない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

※「温度保護」の表示については音声モニタの取扱説明書をご参照ください。

■ 商用電源が停電した場合

商用電源が停電したとき、V2Hユニットは出力を停止します。

停電発生時、自動的に家庭内に電力は供給されません。

車両電池の電力を供給する場合は、ブラックスタート操作が必要となります。

また、家庭内にV2Hユニットの電力を供給する際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照下さい。

電源切替ボックスを併設せず、特定の非常用コンセントをご使用の場合、非常用コンセントに電力が供給されます。

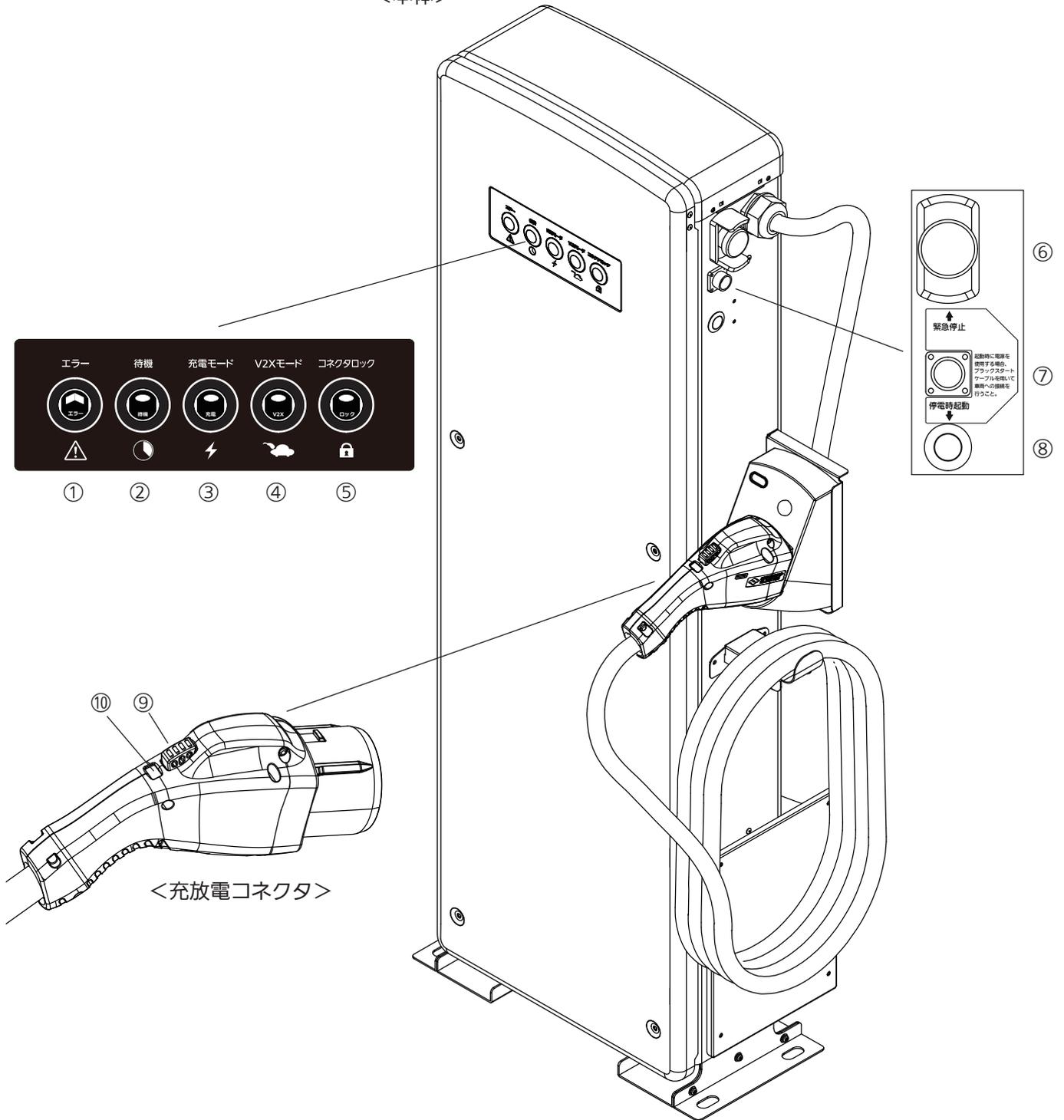
使用可能なコンセント数は1口のみで、最大出力は1.5kVAとなります。

(詳細は、販売店にお問合せください)

V2Hユニット操作方法

■各部の名称

<本体>



名称	操作	表示内容
① エラー表示ランプ	—	V2Hユニットが何らかの異常を検知した時は点滅または、点灯します。緊急停止ボタンが押されたときは点灯します。
② 待機ボタン	充電モード・V2Xモード中に押すことで待機モードに切り替わります。 V2Hユニットのエラー発生中に長押し（3秒）することでV2Hユニットのエラーを解除できます。	ボタン操作時は点滅し、待機モードに切り替わると点灯します。30分経過すると省電力表示に切り替わります。
③ 充電モードボタン	押すことで充電モードに切り替わります。	ボタン操作時は点滅し、充電モードに切り替わると点灯します。30分経過すると省電力表示に切り替わります。
④ V2Xモードボタン	押すことでV2Xモードに切り替わります。	ボタン操作時は点滅し、V2Xモードに切り替わると点灯します。30分経過すると省電力表示に切り替わります。
⑤ コネクタロックボタン	嵌合状態で押すことでコネクタがロックし、待機状態で押すことでロック解除します。	ボタン操作時は点滅し、コネクタロック状態で点灯します。30分経過すると省電力表示に切り替わります。
⑥ 緊急停止ボタン	異常や危険を感じたときに押すことでV2Hユニットの動作を緊急停止させます。ボタンはラッチ型のため解除操作を行うまで保持されます。	—
⑦ ブラックスタート用コネクタ	ブラックスタート時にブラックスタート用ケーブルを接続するコネクタです。車両シガーソケットからV2Hユニットに電源を供給します。	—
⑧ 停電時起動ボタン	早い点滅（1秒に2回点滅する）のときに押すことでブラックスタートを実施します。	ブラックスタート準備中は遅い点滅（2秒に1回点滅）となり、準備が完了し操作できる状態になると早い点滅（1秒に2回点滅）になります。停電起動を開始すると点灯します。自立運転中は点灯状態を維持します。
⑨ リリースボタン	押しながら引き抜くことで車両から充放電コネクタを引き抜くことができます。 ※インジケータが赤のときはリリースボタンが押せず、引き抜けません。	—
⑩ インジケータ	—	コネクタロックをしているときに色が変わります。 ロック時：赤 解除時：黒

※車両から充放電コネクタに12V電源を供給している場合、ブラックスタートケーブルを接続しなくても停電時起動ボタンを押すことで起動ができます。

12Vの供給可否は、車両をご購入したご販売店様へご確認ください。

※無効操作表示：無効な操作を行った場合、エラー表示ランプ以外が4回点滅します。

※省電力表示：当該ランプを5秒間隔でゆっくり明るさを変化させます。

※エラー表示ランプが点滅している際は、音声モニタのお知らせを確認してください

（enenowaサービスに加入されている場合、スマートフォンからもご確認いただけます。）

V2Hユニット操作方法（つづき）

■ V2Hユニットの運転状態の表示について

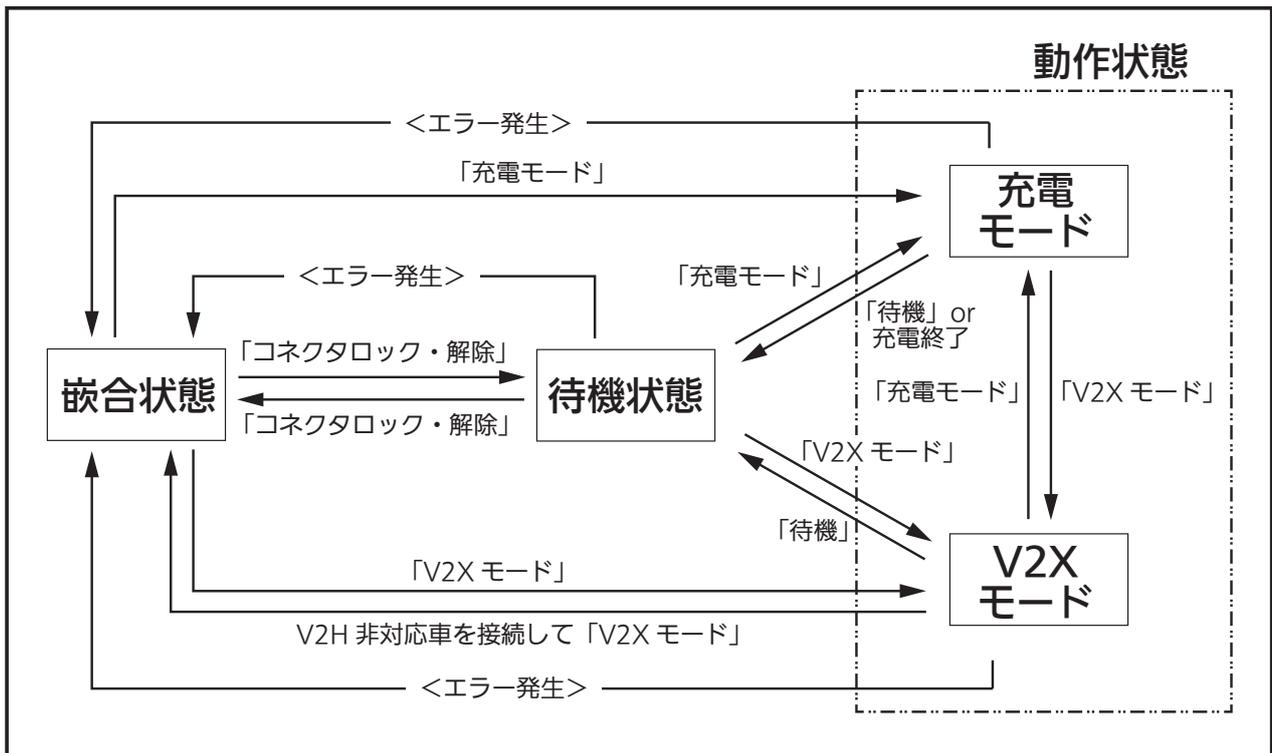
V2Hユニットの運転状態は、前面パネルとサイドのランプ付ボタンで表示しています。

項目	ランプ状態	
電源断または 連系手動停止中または 自立手動停止中	全ランプ消灯	
待機状態 (連系運転中または 自立運転中)	待機ランプ点灯 または省電力表示	
充電モード状態 (連系運転中)	充電モードランプ点灯 または省電力表示	
V2Xモード状態 (連系運転中または 自立運転中)	V2Xモードランプ点灯 または省電力表示	
コネクタロック状態 (連系運転中または 自立運転中)	コネクタロック ランプ点灯 または省電力表示	
自立運転中	停電時起動ランプ点灯	

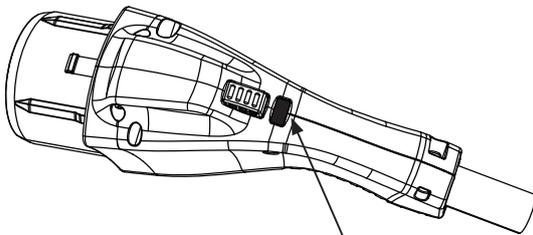
本システムではシステム運転状態の表示、運転モードの設定変更は、音声モニタもしくはお客様のスマートフォンで行うようにしています。

※省電力表示：当該ランプを5秒間隔でゆっくり明るさを変化させます。

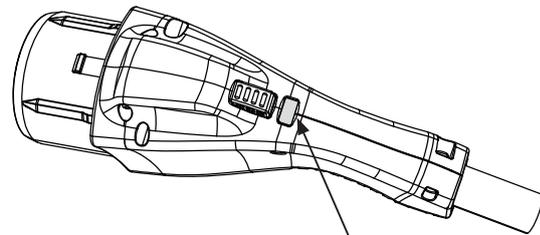
■ 内部状態



嵌合状態 : 充放電コネクタを車両へ接続した状態です。
 充放電コネクタのインジケータは黒で車両への抜き差しが可能な状態です。
 ※強い衝撃等でインジケータが赤に変わってしまった場合は自動でインジケータが元に戻ります。
 頻繁にインジケータが切り替わってしまう場合は、使用を中止しご購入いただきました販売店へご相談下さい。



嵌合状態ではインジケータは黒です



待機状態、充電モードおよびV2Xモードではインジケータは赤です

待機状態 : 嵌合状態でコネクタロックボタンを押すことで充放電コネクタがロックされ、待機状態になります。コネクタロックがされているので、車両から充放電コネクタを外すことは出来ません。待機状態でコネクタロックボタンを押すことでロックが解除され、充放電コネクタを外す事が出来ます。充電モードボタンを押すことで、充電モードに、V2Xモードボタンを押すことでV2Xモードになります。コネクタロックボタンを押しても車両から充放電コネクタを外すことが出来ない場合は、緊急解除を行うことで外す事が出来ます。
 ※緊急解除を行うと充放電コネクタの交換が必要になります。
 使用を中止しご購入いただきました販売店へご相談下さい。

充電モード : 待機状態もしくは嵌合状態で充電モードボタンを押すことで充電モードになります。インテリジェントモードに設定されている場合も充電を開始します。待機ボタンを押すことで待機状態に戻ります。

V2Xモード : 待機状態もしくは嵌合状態でV2Xモードボタンを押すことでV2Xモードになります。お客様の設定しているシステムモード設定とV2Xモード設定に従い充放電を行います。待機ボタンを押すことで待機状態に戻ります。

V2Hユニット操作方法（つづき）

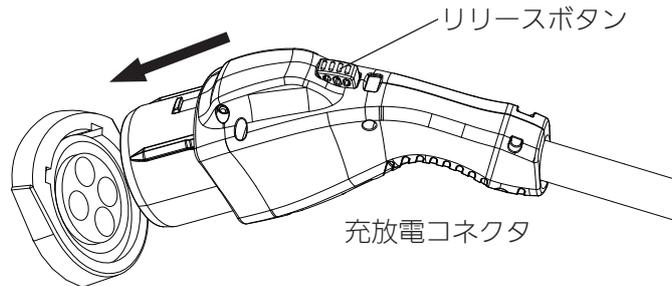
■車両との接続方法

車両のシフトポジションをP（パーキング）にし、車両アクセサリがOFFになっていることを確認し、完全に車両が停止している状態にしてください。

※車両アクセサリOFFの操作方法は車両により異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

■V2Hユニット本体の操作

1. 充放電コネクタを車両に接続する。
リリースボタンを触らずに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



2. コネクタロックボタンを押す。
コネクタロックボタンを押すと、充放電コネクタがロック状態となり、ランプが点灯します。
ロック状態で充放電コネクタを無理やり引き抜くと破損の原因になります。
コネクタロックボタンを再度押すことでコネクタロックが解除されます。



ランプ消灯



ランプ点灯

3. 充電モードボタンもしくはV2Xモードボタンを押す。
※待機ボタンを押すことで、各モードから待機状態に戻すことができます。



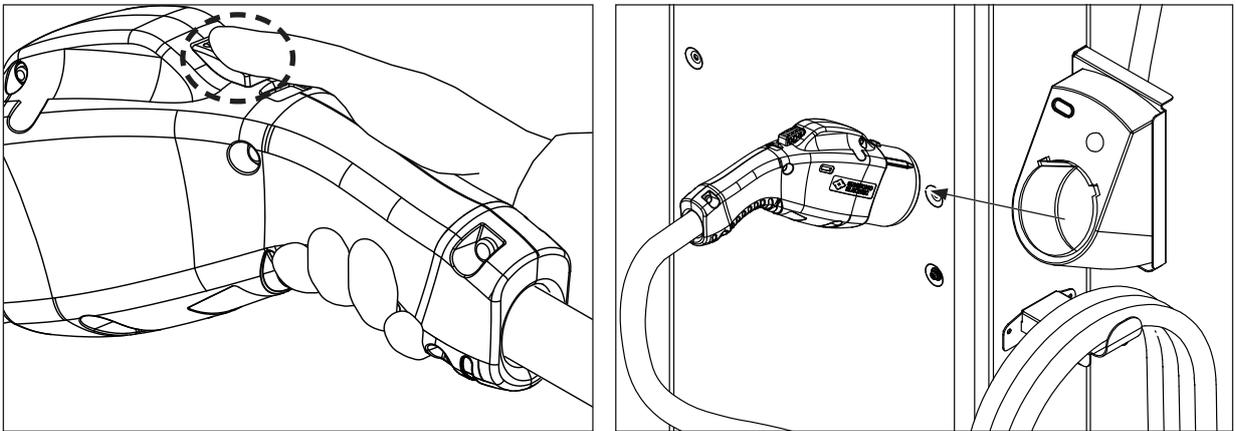
■ 車両への充電方法

1. 充電を行う前に全てのランプが消灯していることを確認してください。
エラー表示ランプが点滅、点灯している場合は「こんなときは」(36ページ)をご参照ください。

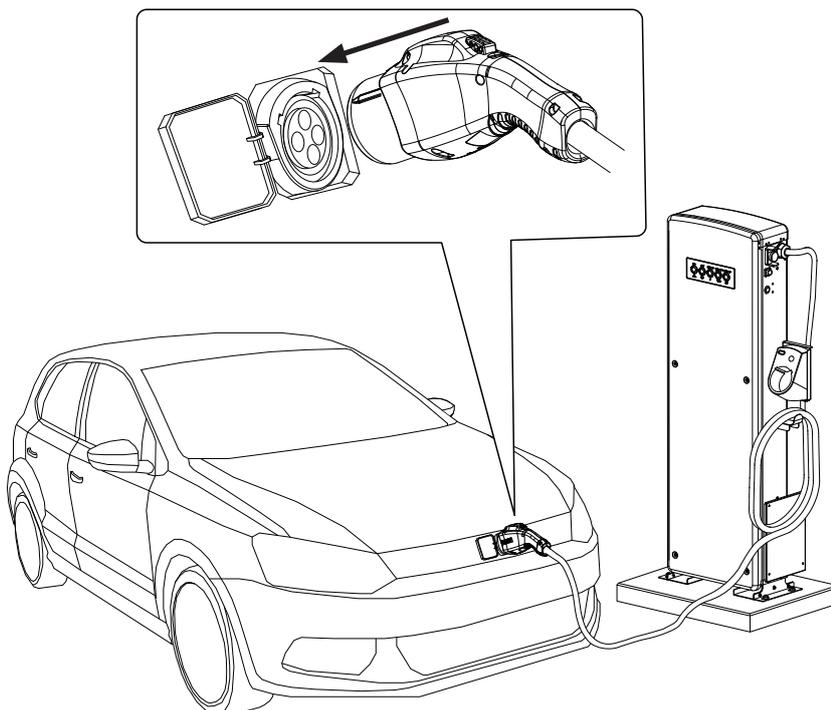


2. リリースボタンを押しながら充放電コネクタをV2Hユニットから引き抜きます。

リリースボタンを押しながら引き抜く



3. 充放電コネクタを車両の充放電プラグに接続します。
「カチッ」と音がするまで車両の充放電プラグに押し込んでください。



V2Hユニット操作方法（つづき）

4. 充電モードボタンを押し、充電を開始します。

充電モードボタンを押すと充電モードランプが点滅します。

その後コネクタロックランプと充電モードランプが点灯し充電が開始します。



ランプ消灯



ランプ点滅



ランプ点灯



ランプ消灯



ランプ点灯

5. 充電が完了します。

充電が終了すると充電モードランプが消灯し、待機モードランプが点灯します。

コネクタロックランプは点灯を継続します。



ランプ消灯



ランプ点灯



ランプ点灯



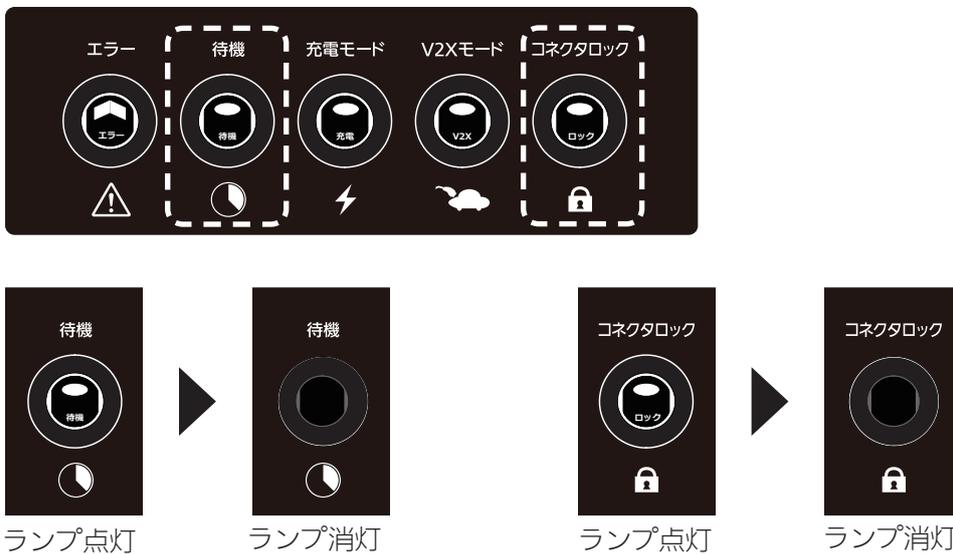
ランプ消灯

■ 車両充電の終了方法

1. 待機ボタンを押し、動作状態を待機状態に設定します。
待機状態となれば待機ランプが点灯または点滅します。
※既に待機状態であれば、操作は不要です。

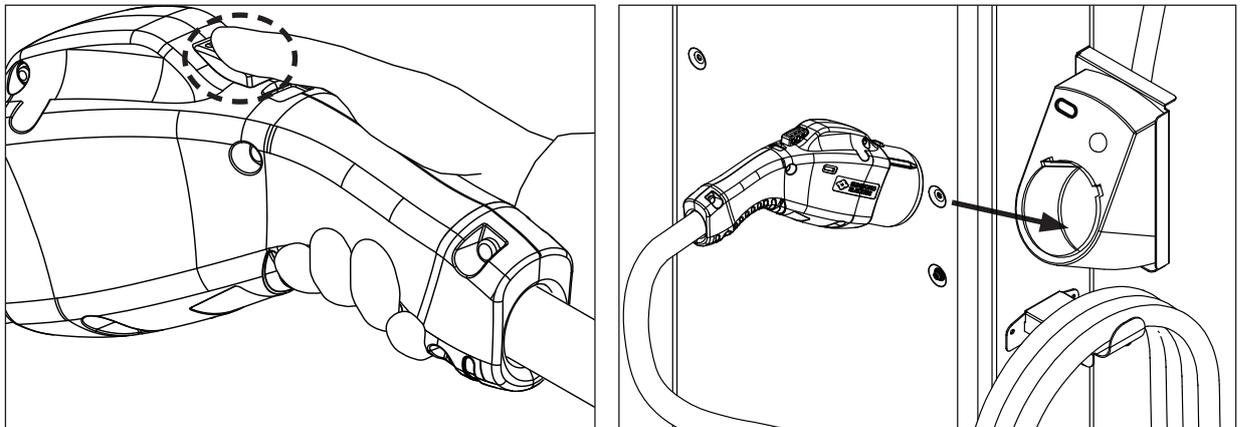


2. コネクタロックランプが点灯している場合、コネクタロックボタンを押し、ロック状態を解除します。
ロック状態が解除されればコネクタロックランプと待機ランプが消灯します。



3. リリースボタンを押しながら充放電コネクタを車両から引き抜き、V2Hユニットに戻します。
車両からコネクタを抜く際はコネクタのインジケータが黒になっていることを確認してから抜いてください。

リリースボタンを押しながら引き抜く



V2Hユニット操作方法（つづき）

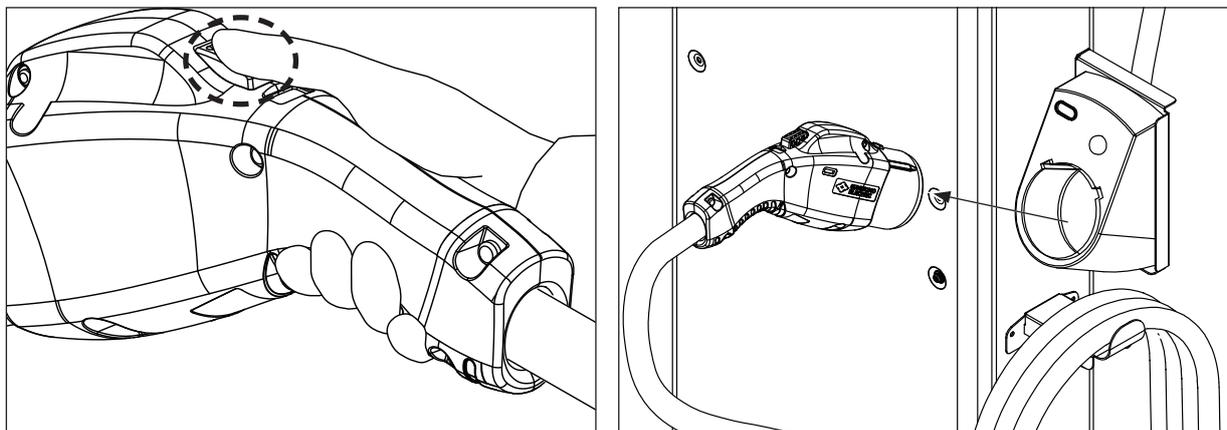
■ V2Xモードの操作方法

1. V2Xの操作を行う前に全てのランプが消灯していることを確認してください。
エラー表示ランプが点滅、点灯している場合は「こんなときは」（36ページ）をご参照ください。
V2Xモードは音声モニタ等で設定しているシステムモード設定、V2Xモード設定に従い充放電を行いますので、V2Xの操作を行う前に各設定をご確認ください

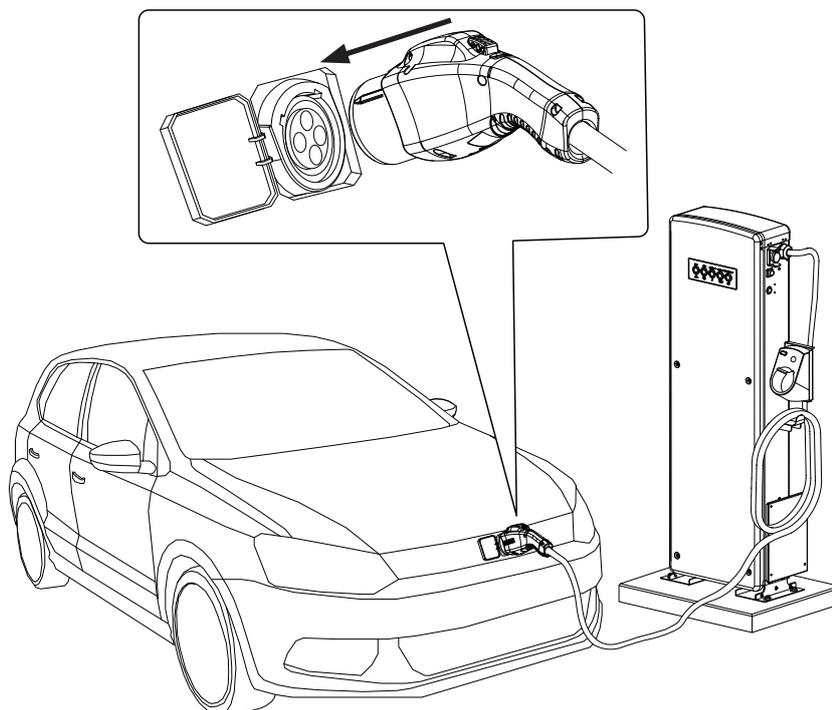


2. リリースボタンを押しながら充放電コネクタをV2Hユニットから引き抜きます。

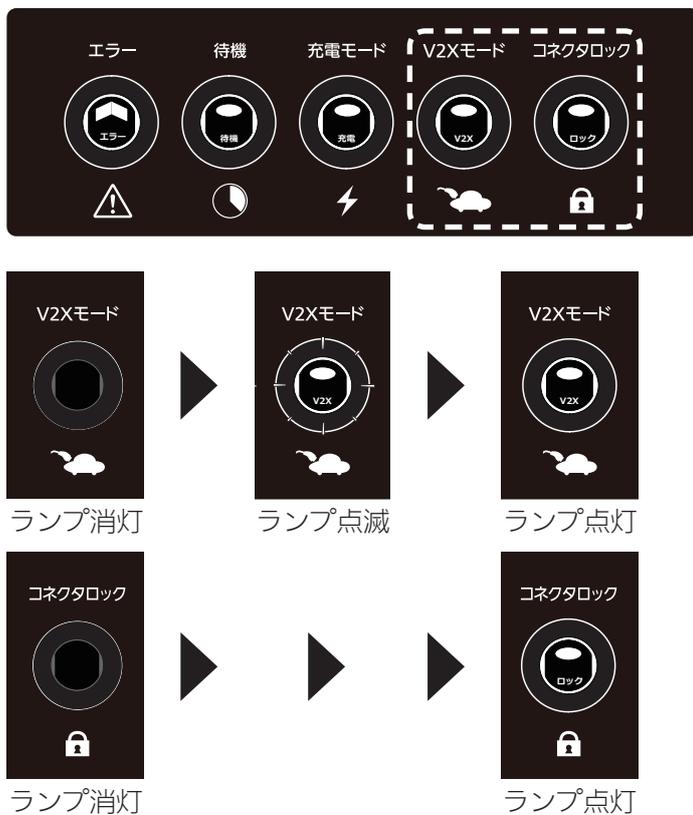
リリースボタンを押しながら引き抜く



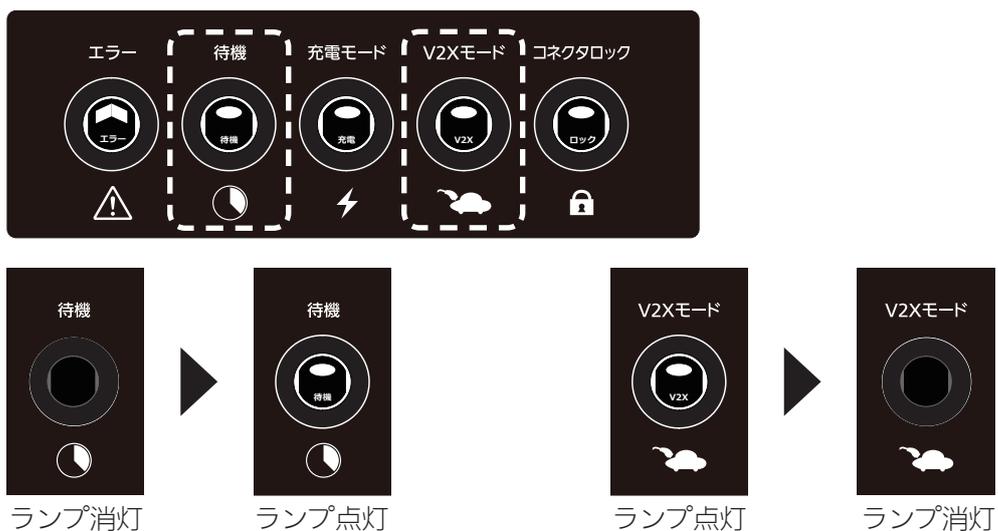
3. 充放電コネクタを車両の充放電プラグに接続します。
「カチッ」と音がするまで車両の充放電プラグに押し込んでください。



4. V2Xモードボタンを押し、V2Xを開始します。
 V2Xモードボタンを押すとV2Xモードランプが点滅します。
 コネクタロックとV2Xモードランプが点灯するとV2Xが開始します。



5. V2Xモードが終了します。
 設定しているシステムモード設定やV2Xモード設定によってはV2Xモードが終了することがあります。
 V2Xが終了するとV2Xモードランプが消灯し、待機ランプが点灯します。
 コネクタロックランプは点灯を継続します。



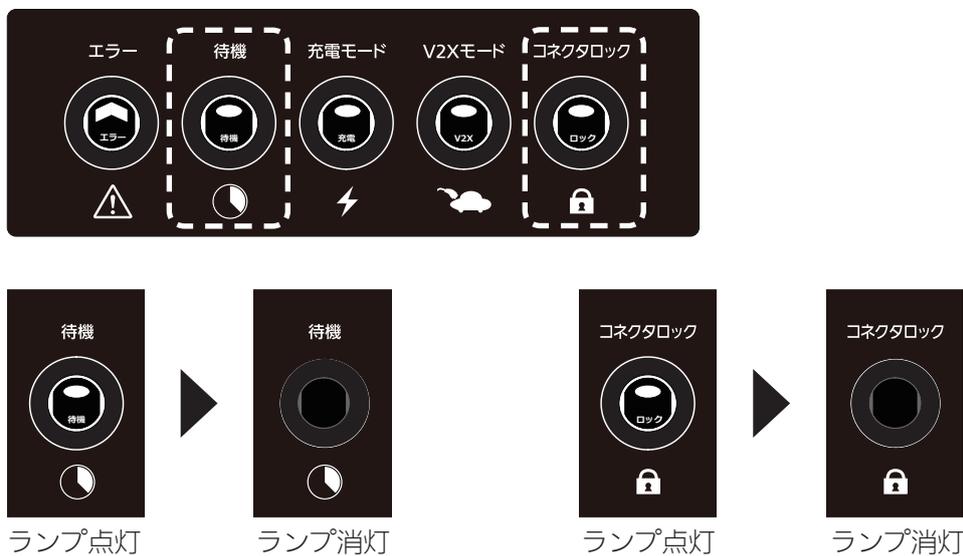
V2Hユニット操作方法（つづき）

■ V2Xモードの終了方法

1. 待機ボタンを押し、動作状態を待機状態に設定します。
待機状態となれば待機ランプが点灯または点滅します。
※既に待機状態であれば、操作は不要です。

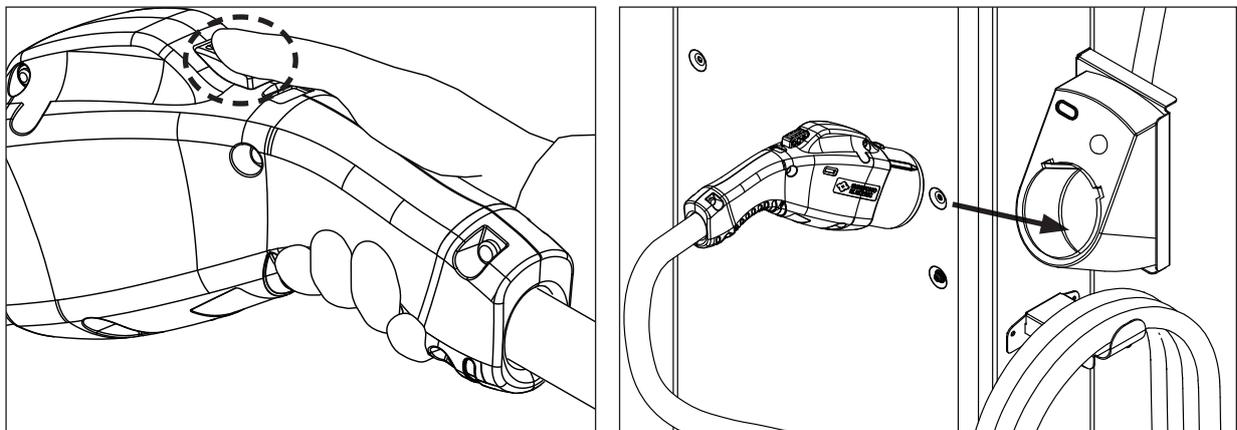


2. コネクタロックランプが点灯している場合、コネクタロックボタンを押し、ロック状態を解除します。
ロック状態が解除されればコネクタロックランプと待機ランプが消灯します。



3. リリースボタンを押しながら充放電コネクタを車両から引き抜き、V2Hユニットに戻します。
車両からコネクタを抜く際はコネクタのインジケータが黒になっていることを確認してから抜いてください。

リリースボタンを押しながら引き抜く



充放電コネクタの緊急解除について

ご注意

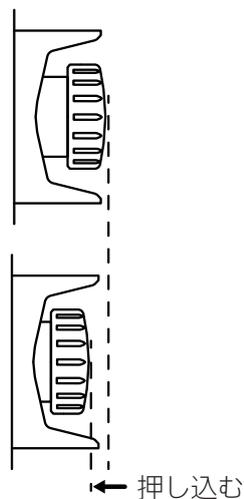
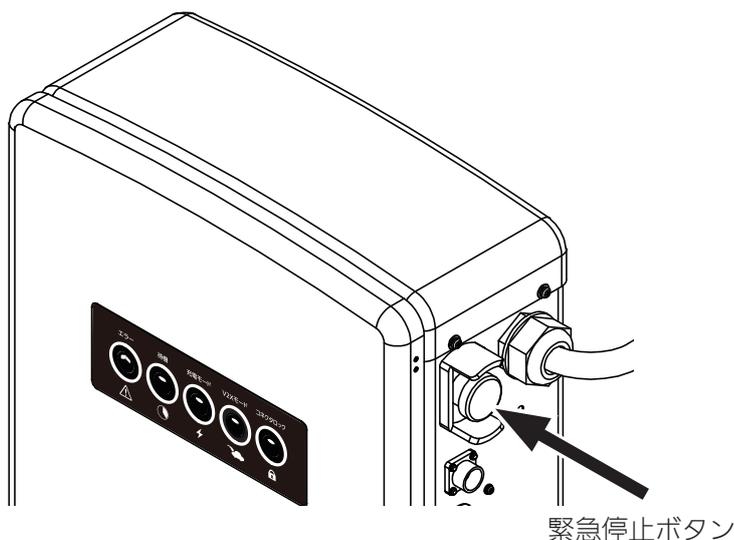
緊急解除を行った場合、充放電コネクタは内部部品の点検、交換が必要になります。
緊急離脱専用工具を使用したら再使用せず必ずご購入いただきました販売店へご連絡下さい。
保証期間中であっても緊急解除を行った場合は、部品交換、サービス対応費用が発生します。

■ 緊急解除方法

・作業前確認

ブラックスタートケーブルが接続されていないことを確認し、接続されている場合は接続を解除してください。
車両の車両アクセサリがOFFになっていることを確認し、ONになっている場合はOFFにしてください。
V2Hユニットが充放電動作をしていないことを確認し、動作している場合は停止してください。

1. 緊急停止ボタンを押す。



緊急停止ボタンは「カチッ」と音がしてボタンが押し込まれた状態になるまで強く押してください。

2. エラー表示ランプが点灯していることを確認。



ランプ消灯

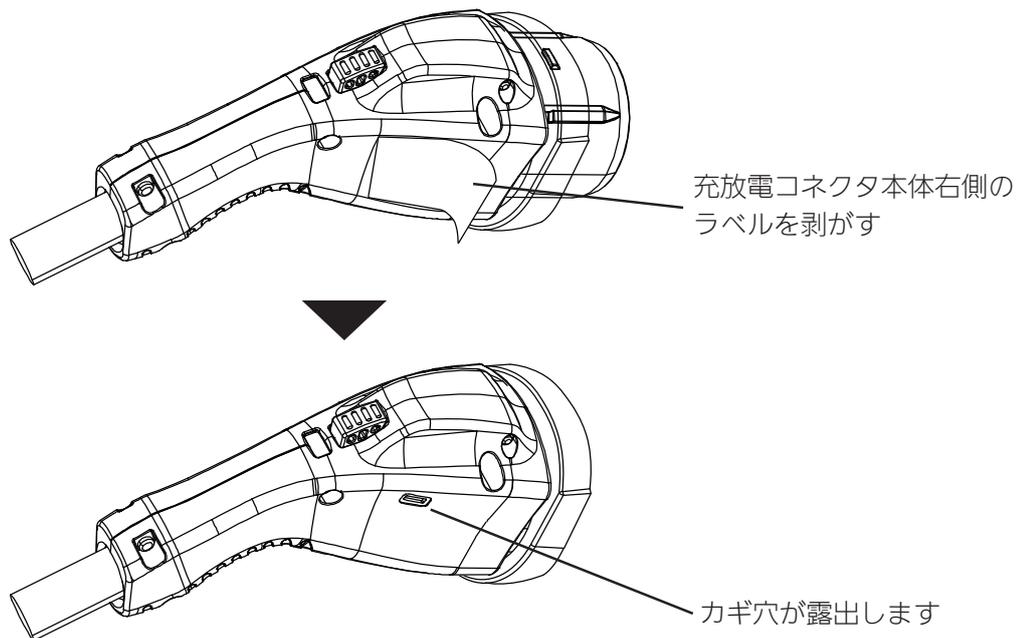


ランプ点灯

※この作業後、コネクタロックが解除されていれば、手順6へ進んでください。
充放電コネクタのインジケータが黒になっていれば解除されています。

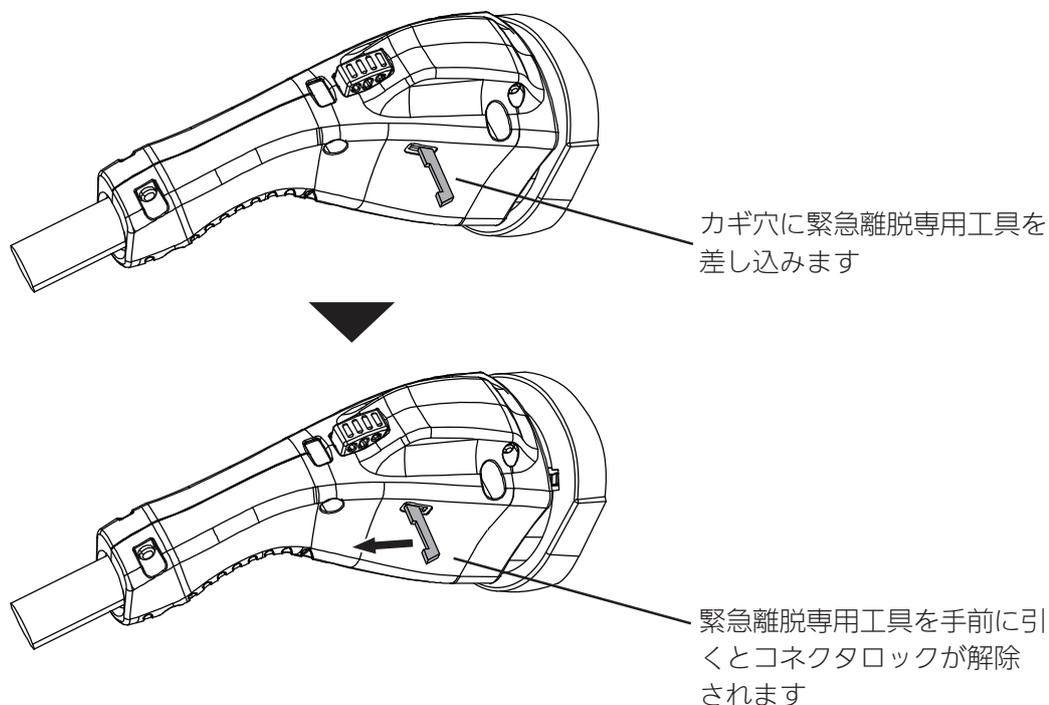
充放電コネクタの緊急解除について (つづき)

3. 充放電コネクタ本体右側 (ケーブル側から見た方向) のラベルを剥がしてください。



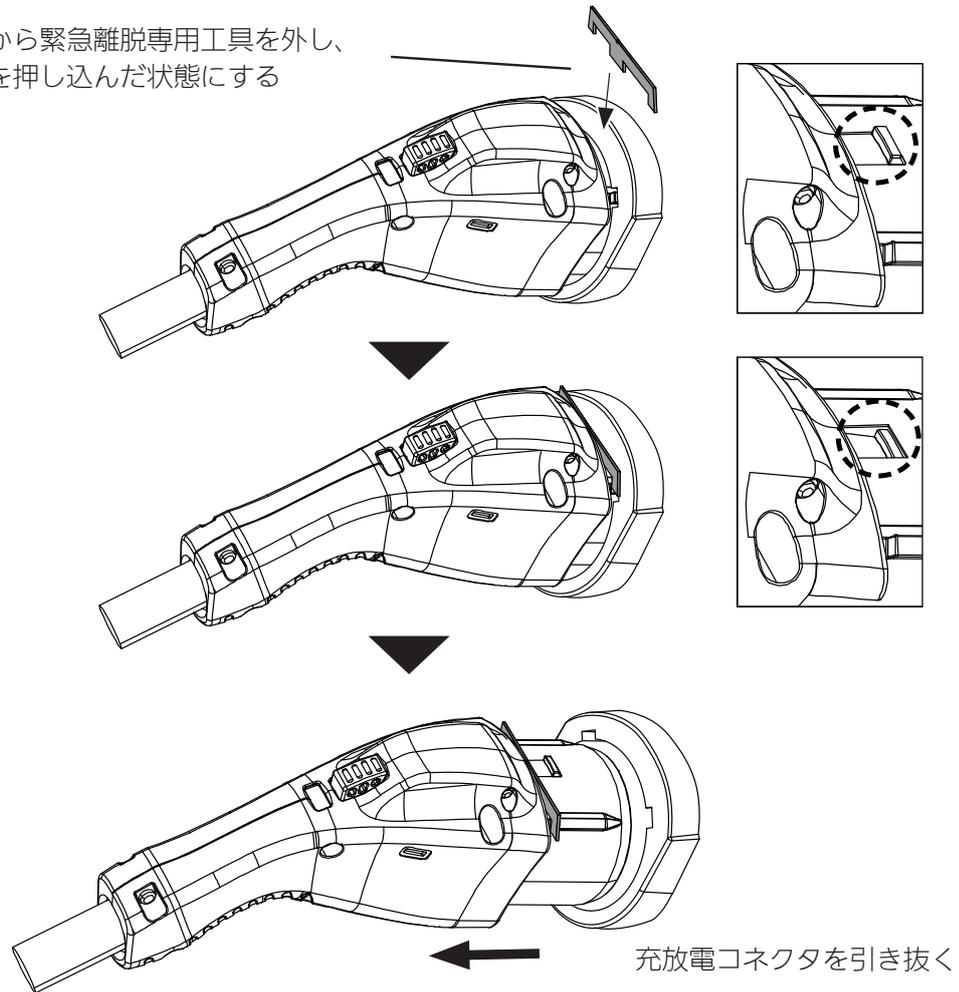
4. ラベルを剥がした面に現れるカギ穴に緊急離脱専用工具を挿入し、手前 (ケーブル側) に引いて下さい。
(この操作で、コネクタロックが解除されます)

※コネクタロックが解除済み状態の場合、操作時に手応えを感じない場合もあります。



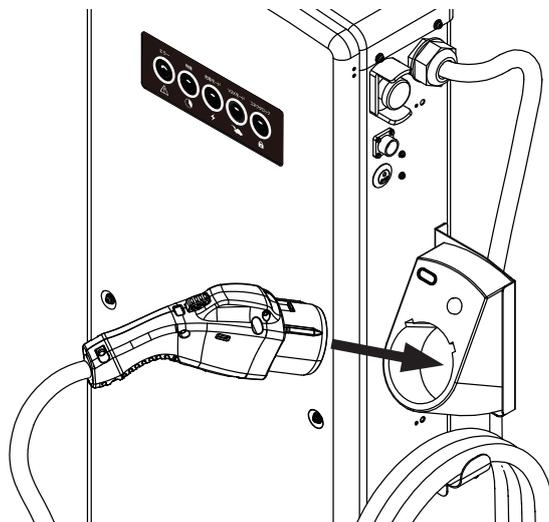
5. コネクタロックが解除された後、緊急離脱専用工具中央の突起部にて、ラッチを下方に押し下げた状態のままで、充放電コネクタを車両から引き抜いて下さい。
(ラッチが解除され、コネクタが離脱可能です。)

カギ穴から緊急離脱専用工具を外し、
ラッチを押し込んだ状態にする



充放電コネクタを引き抜く

6. 充放電コネクタをV2Hユニットへ戻し、ご購入いただきました販売店へご連絡下さい。



自立運転について（停電時）

■ 自立運転時の注意点

警告



禁止

- コンセントに以下の製品をつながない。
電源が切れると生命や身体を害したり、財産に損害を受けるおそれのある機器は、ご使用にならないでください。
自立運転の最大出力電力は200V出力時5.5kVAで、100V出力時は2.75kVAが2回路の合計5.5kVAです。
(電源切替ボックスを使用しない場合は、最大出力電力は100Vが1系統で1.5kVAとなります。)
使用する機器の消費電力が最大出力を超える場合は運転を停止します。
また、V2Hユニットに接続されている車両電池残量が低下した場合、自立運転の最大出力は低下します。

注意



必ず守る

- 自立運転開始後に異臭や異音がした場合は、ただちにV2Hの運転を停止する。

- 商用電源が停電したとき、V2Hユニットは出力を停止します。
停電発生時、自動的に家庭内に電力は供給されません。
車両電池の電力を供給する場合は、ブラックスタート操作が必要となります。
また、家庭内にV2Hユニットの電力を供給する際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照ください。
電源切替ボックスを併設せず、特定の非常用コンセントをご使用の場合、非常用コンセントに電力が供給されます。
使用可能なコンセント数は1口のみで、最大出力は1.5kVAとなります。
(詳細は、販売店にお問合せください)
- 使用できる電力には限りがあります。
自立運転は単相3線出力で、最大出力は200V出力時に最大5.5kVA、100V出力時は最大2.75kVAが2回路分あります。
電源切替ボックスを使用しない場合は100V出力、最大1.5kVAとなります。
使用する電気機器の消費電力の総計が自立運転の最大出力を超えた場合、自立運転出力は保護回路が働き停止します。
このような場合、使用する電気機器を減らすか、電気機器の設定を低消費電力モードにするなど、調整をお願いします。
- 自立運転開始時、電気機器の起動する電力が大きい場合、運転を停止します。
自立運転時に大型空調機、大型洗濯機、ポンプ負荷等をご使用の場合、起動する電力が大きくなるため運転を停止する場合があります。
このような場合、使用する電気機器を減らすか、電気機器の設定を低消費電力モードにするなど、調整をお願いします。
- 自立運転中に特定の電気波形（半波整流）を有する機器（ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペットなどの一部の機器）を使用すると一時的に運転が停止する場合があります。
その場合は該当機器を使用しないでください。
- 自立運転中に使用している電気機器が途中で使えなくなる場合があります。
自立運転は車両電池に蓄えた電力を利用します。そのため、車両電池の状態によって、自立運転出力が不安定になることがあり、出力が低下すると自立運転は自動的に停止します。
- 本製品には無停電電源装置（UPS）機能を備えていません。
商用電源が停電した場合、V2Hユニットは運転を停止します。商用電源が正常に戻った後、運転操作が必要となります。
- 自立出力短絡時、V2Hユニットは電子保護により停止します。
その時に大きな電流が流れる可能性がある為、ケーブルやブレーカは本紙で指定している条件を満たしたものを使用してください。
(ピーク電流値：316A 短絡保護までの時間：80.4ms)

■ 停電になったときは

- ① 商用電源が停電したとき、V2Hユニットは出力を停止します。
- ② 電源切替ボックスの操作が必要な際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照ください。
- ③ 電源切替ボックスを併設せず非常用コンセントをご使用の場合は非常用コンセントに使用したい電気機器をつなげてください。
- ④ ブラックスタート機能（32ページ）を参照し自立運転を開始してください。

■ 商用電源が復電したときは

- ① 商用電源が復電すると、V2Hユニットの自立出力を停止します。
- ② 電源切替ボックスの操作が必要な際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照ください。
復電後、電源切替ボックスが切り替わるまで家庭内に電気が供給されません。
- ③ 電源切替ボックスを併用していない場合は、非常用コンセントにつないでいた電気機器をもとのコンセントにつなぎ直してください。

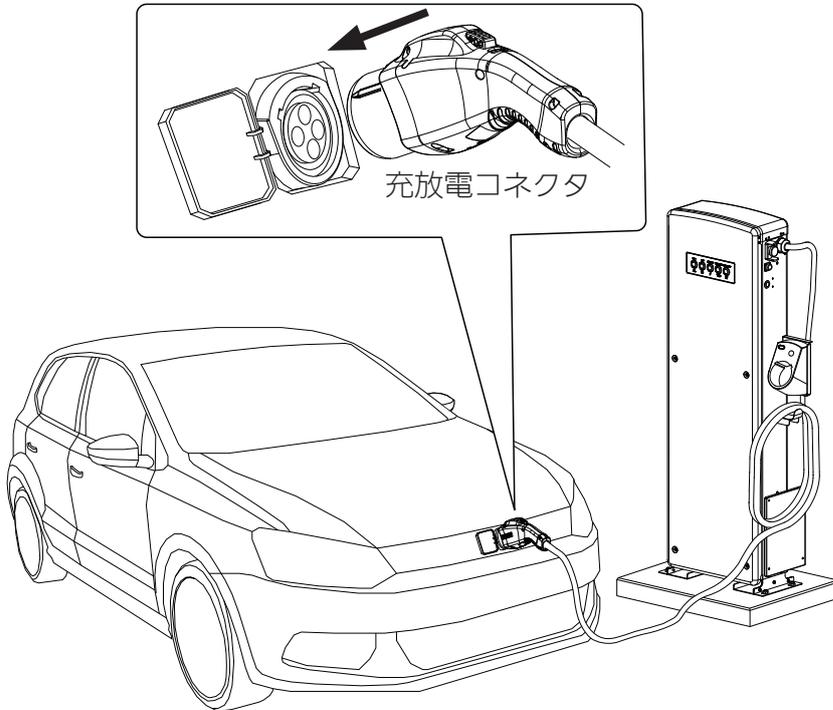
ブラックスタート機能

※車種によって記載内容と異なる手順となる場合があります。

車両の取扱説明書、当社ホームページの対応車種もご確認ください。

停電した際に車両に蓄えた電力を使用してシステムを起動し、自立運転を開始する機能です。

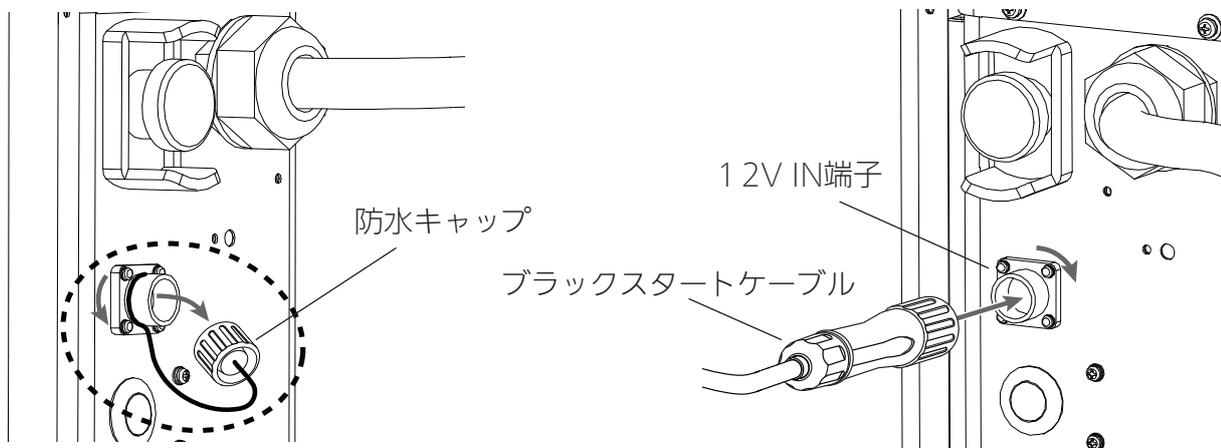
1. 充放電コネクタを車両に接続する



2. V2Hユニット側面の防水キャップを外し12V IN端子にブラックスタートケーブルを接続する。

※車両より充放電コネクタに12V電源が供給される車両は、ブラックスタートケーブルを接続しなくても充放電コネクタを車両に接続して、車両アクセサリをONにすることで起動が出来ます。車両アクセサリをONにした後は項目4. に移動してください。

なお、12V電源が供給される車両であるかにつきましては、ご購入された販売店へご確認ください。



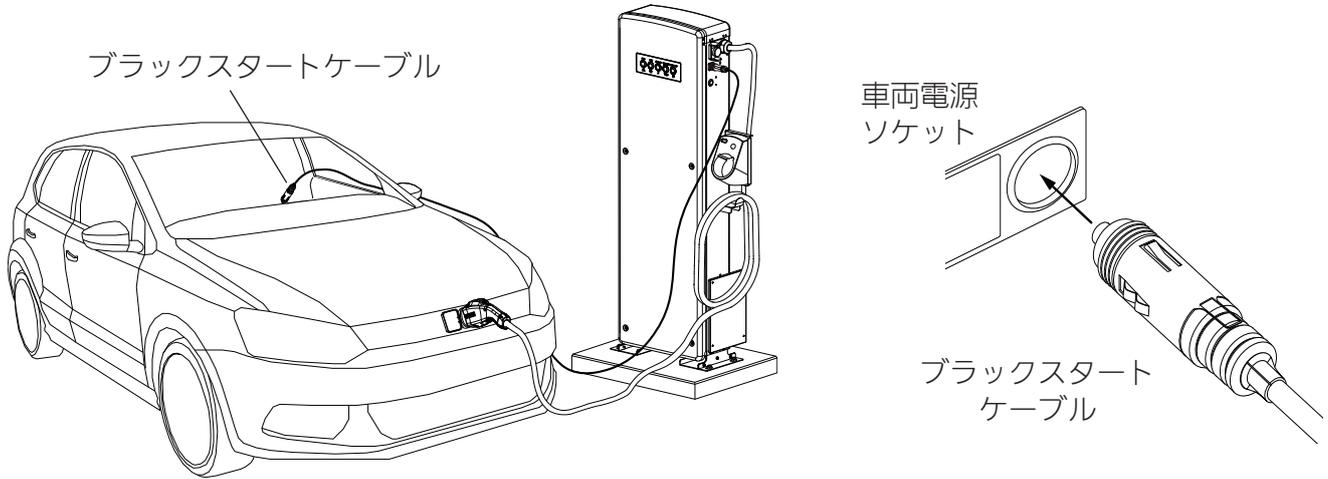
※防水キャップは半時計回りに回転させてから引き抜いてください。

※ブラックスタートケーブルには向きがあります。

向きが合わないと刺さらないので無理に押し込まずコネクタ形状を確認の上、差し込んでください。差し込んだ後、ロックが掛かるまで時計回りに回転させてください。

3. 車両の窓からブラックスタートケーブルを車両内に引き込む。

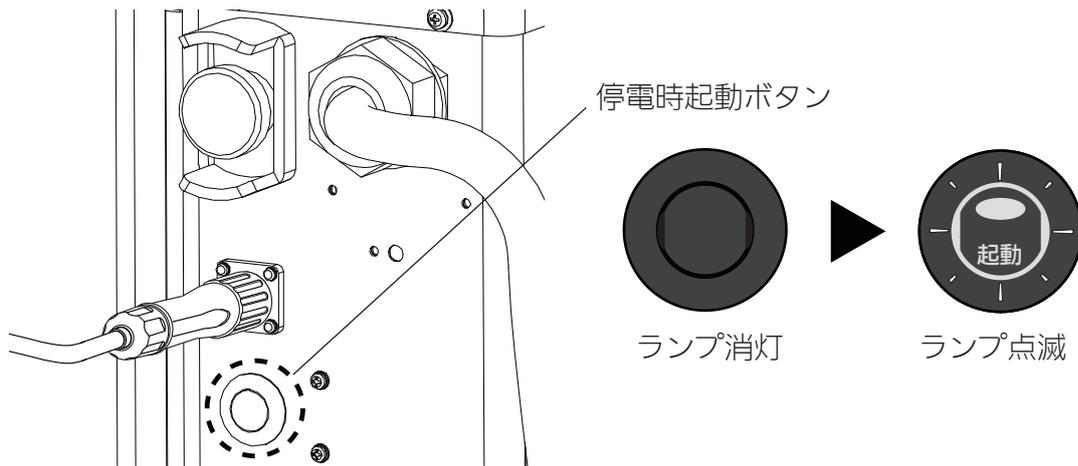
ブラックスタートケーブルを車両電源ソケットの奥まで差し込み、車両アクセサリをONにする。
(車両のドアは閉じること)



4. 停電時起動ランプが早い点滅（1秒に2回点滅）になることを確認する。

起動準備の完了をお知らせする停電時起動ランプが早い点滅（1秒に2回点滅）
に変わるまで、しばらくお待ちください。（約2～4分）

※車両アクセサリをONした状態で、ブラックスタートケーブルを接続しても停電時起動ランプは消灯したままとなります。約1～2分後に消灯から遅い点滅（2秒に1回点滅）に変わります。さらにその約1～2分後に遅い点滅から早い点滅（1秒に2回点滅）に変わり、起動準備が完了します。



※早い点滅に変わるまでに停電時起動ボタンを押しても、起動できません。

※5分経過しても、停電時起動ランプが点滅しない場合は、車両アクセサリがONになっているか再度確認してください。ONになっているにもかかわらず点滅が始まらない場合は、V2Hユニットまたはブラックスタートケーブルが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

ブラックスタート機能 (つづき)

5. 停電時起動ボタンを押す。

起動準備完了後に停電時起動ボタンを押すと、ランプが点灯に変わり、起動を開始します。



6. 車両から電気が供給されていることを確認後 (起動完了後)、車両アクセサリをOFFする。 起動ボタンを押してから約3~5分後に車両蓄電池から電気が供給されます。

※起動完了前に車両のアクセサリをOFFしないでください。

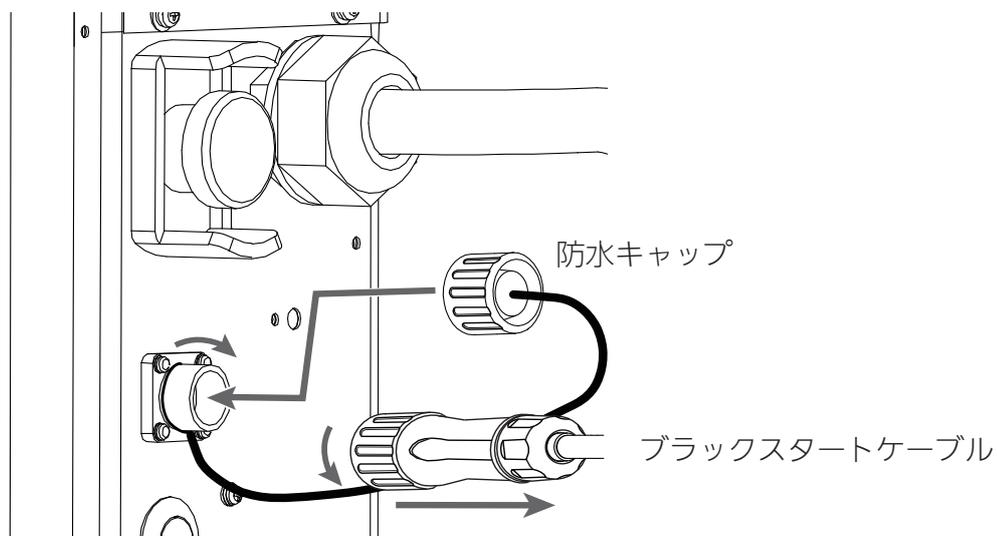
※起動完了後にV2Xモードランプが点灯し、停電時起動ランプも点灯状態を維持します。

※車両の蓄電池残量が放電下限値を下回っている場合は、起動できずにブラックスタートを停止します。

※起動後に車両の蓄電池残量が残量下限を下回った場合は、ブラックスタートを停止します。



7.ブラックスタートケーブルを外し、防水キャップを元に戻す。



- ※ブラックスタートケーブルを外す前に車両アクセサリがOFFになっていることを確認してください。
- ※防水キャップを付け忘れると、感電や故障の原因となります。

8.以降の操作方法は、通常での使用方法と同じです。

- ※自立運転中に待機ボタンを押したり、音声モニタから運転停止の操作をするとV2Hユニットが停止し、宅内への電気の供給も停止するため停電状態となります。

こんなときは

■メッセージ一覧

音声モニタからお知らせコードが表示されたときは、次の内容をご確認の上、対処方法をお試してください。確認の結果、異常がある場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

音声案内	メッセージ見出し	メッセージ本文 (対処方法)	お知らせコード	備考
あり	蓄電池残量 (めやす)	現在の車両蓄電池の残量はAA%(注1)です。	—	—
あり	停電： 車両蓄電池 残量小	車両側で設定されている蓄電池の使用範囲は上限AAA%(注2)、下限BB%(注3)です。まもなくV2Hからの電気の供給を停止します。停電から復帰するか、発電している場合は、電気製品への電気供給が可能です。タイマーで自動稼動する電気製品は、平常通りタイマー稼動が必要かご確認の上、不要な場合は電源を切ってください。 例) エコキュート/電気温水器、エアコン、電気床暖房、食洗機/洗濯乾燥機など。	—	—
あり	停電： 自立過負荷	コード【x x x x】停電のため、パワーコンディショナから電気の供給を行いました。現在の電気使用量が大きくパワーコンディショナの能力を超えたため、電気の供給が止まりました。電気使用量を下げ、使用する電気製品を限定してください。タイマーで自動稼動する電気製品は、平常通りタイマー稼動が必要かご確認の上、不要な場合は電源を切ってください。 例) エコキュート/電気温水器、エアコン、電気床暖房、食洗機/洗濯乾燥機など。	・xxxxに入るのは次のコード。 e192,e291,e299	—
—				—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】停電のため、パワーコンディショナから電気の供給を行いました。電気機器に供給できませんでした。使用する電気製品を限定してください。停電時以外の場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。(注4)	・xxxxに入るのは次のコード。 e161	—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】停電時以外は自立運転用コンセントに電気機器を接続しないでください。自立運転用コンセントを使用していない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e298	—
あり	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 E641,E643,T611, T621,T622,T641, T642,T651	—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5分が経過しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e151,e191,e281, e571,e621	—
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E151,E281,E621	—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】商用電源の異常を検知しました。5分が経過しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e211,e221,e231	—
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E211,E221,E231	—

音声案内	メッセージ見出し	メッセージ本文 (対処方法)	お知らせコード	備考
あり	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】しばらく経っても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 T631	—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】パワーコンディショナの温度範囲が運転範囲外です。周囲の確認をお願いします。対処しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e411,e421,e426	—
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E411,E421,E426,	—
—	パワーコンディショナ1	コード【x x x x】商用電源の異常を検知しました。正常に戻ってから約5分で運転します。運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 g111,g116,g121, g141,g311,g316, g321,g322,g331	—
—	表示ユニット	コード【x x x x】表示ユニットが正常に動作していません。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 ZD02,ZD03	—
—	通信	コード【x x x x】パワーコンディショナと通信できません。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 Z521,ZD01	—
—	インテリジェントモード	コード【x x x x】インターネット環境をご確認ください。(注5)	・xxxxに入るのは次のコード。 A611	—
—	ACC内部異常	コード【x x x x】通信制御ユニットの異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 A111	—
—	時刻設定	コード【x x x x】時刻を設定してください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e731	—
—	V2H	コード【x x x x】V2Hの温度範囲が運転範囲外です。周囲の確認をお願いします。対処した後に、V2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p416,p426,p436, p446,p456	—

注1：AAに入るのは【メッセージを表示させた時の車両蓄電池残量(1%刻み)】です。

注2：AAAに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の上限(1%刻み)

注3：BBに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の下限(1%刻み)

注4：自立運転中に特定の電気波形(半波整流)を有する機器(ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペットなどの一部の機器)を使用すると一時的に運転が停止する場合があります。その場合は該当機器を使用しないでください。

注5：・「enenowaサービス」にご加入の方

インテリジェントモードに設定しているときにサーバとの通信が途絶し、充放電スケジュールの取得に失敗しました。V2HユニットからのLANケーブルを抜き差しして、住宅内のルーターの再起動を行ってください。

・「enenowaサービス」にご加入されていない方

インテリジェントモード以外のシステムモードを設定してください。

こんなときは（つづき）

音声案内	メッセージ 見出し	メッセージ本文 (対処方法)	お知らせ コード	備考
—	V2H	コード【x x x x】V2H内部の異常を検知しました。しばらく経ってからV2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p112,p116,p121, p122,p126,p131, p136,p141,p146, p151,p156,p161, p166,p171,p191, p216,p226,p236, p241,p246,p251, p256,p266,p411, p516,p521,p626, p636,p646,p651, p656,p666,p676, p686,p696,p731, p761,p771,p772, p781,p791,v711	—
あり	V2H	コード【x x x x】V2H内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 P122,P176,P186, P211,P221,P231, P612,P613,P616, P621,P622,P631, P632,P641,P642, P651,P681,P691, P716	—
—	V2H	コード【x x x x】V2H非対応車両に対してV2Hモードが選択されています。V2H対応車両を接続するか、充電モードをご選択ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p751	—
あり	車両シフト 位置変更	コード【x x x x】車両シフト位置が変更されました。V2Hの運転を停止します。(注4)	・xxxxに入るのは次のコード。 v611	—
あり	車両異常	コード【x x x x】車両異常が検出されました。車両に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p181,v111,v121, v411	—
—	緊急停止	コード【x x x x】V2Hの緊急停止ボタンが押されました。周囲の安全を確認してください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p711	—
—	ボタン故障	コード【x x x x】V2H操作ボタンの異常が検出されました。しばらく経ってからV2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p611	—
—	車両蓄電池残 量設定不整合	車両蓄電池の残量上下限設定が車両側で設定されている蓄電池の使用範囲外です。車両側で設定されている蓄電池の使用範囲は、上限AAA%(注1)、下限BB%(注2)です。必要に応じてV2Xモードの設定を調整してください。	—	—
—	V2H	コード【x x x x】V2Hの運転を停止します。(注3)	・xxxxに入るのは次のコード。 p511	—

音声案内	メッセージ 見出し	メッセージ本文 (対処方法)	お知らせ コード	備考
—	V2H	コード【x x x x】V2H内部の異常を検知しました。しばらく経っても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	• xxxx(に入るのは次のコード。 p531,p541,p732	—
—	V2H	コード【x x x x】V2H非対応車両に対してV2Hモードが選択されています。V2Hの運転を停止します。(注5)	• xxxx(に入るのは次のコード。 p721,p743	—
あり	車両異常	コード【x x x x】車両異常が検出されました。車両に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。V2H内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	• xxxx(に入るのは次のコード。 v131,v211,v221	—

注1：AAAに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の上限（1%刻み）

注2：BBに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の下限（1%刻み）

注3：V2Hユニットと車両との接続をご確認ください。

注4：車両のシフトポジションをP（パーキング）にしているかご確認ください。

注5：V2Hユニットの対応車種をご確認ください。

https://www.enetelus.jp/eibsv/v2h/compatible_vehicle.html

こんなときは（つづき）

■ 製品の移設・譲渡・利用の終了について

本製品の修理や移設、再設置が必要となる場合のお願い

お客様自身による本製品の修理や移設、再設置は絶対に行わないでください。

また、このような作業が必要となる場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

本製品は、運転を停止してもV2Hユニット本体には電圧が残っていますので、感電やけがのおそれ、火災、V2Hユニット本体の故障の原因になります。

本製品の使用を終了するなどの場合の電力会社へのご連絡のお願い

本製品は、系統連系を行うシステムのため、以下のような場合には、お客様ご自身が契約されている電力会社に届出を行う必要があります。

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

【電力会社への連絡が必要となる場合の例】

- ①本製品の建物からの取り外しや移設を行う場合
- ②建物の譲渡に伴う電力会社との契約者名義変更が発生する場合
- ③本製品の使用を終了する場合

■ 長期間使用しない場合の対応について

本製品を長期間使用しない場合の対応

本製品を長期間使用しない場合は、主幹ブレーカやV2Hユニット用ブレーカは「OFF」にせず、系統電源から本製品への電力供給が継続されている状態にしてください。

※点検、再起動操作は有償での対応となります。

■ お電話でのお問い合わせ

お電話でのお問い合わせは時間帯により混雑し、お繋ぎするまでにお時間が掛かる場合がございます。



製品お取り扱いに関するお問い合わせ

0120-885-394

営業時間 9:00 - 18:00 (弊社指定定休日除く)



修理に関するお問い合わせ

0120-885-394

営業時間 9:00 - 18:00 (弊社指定定休日除く)

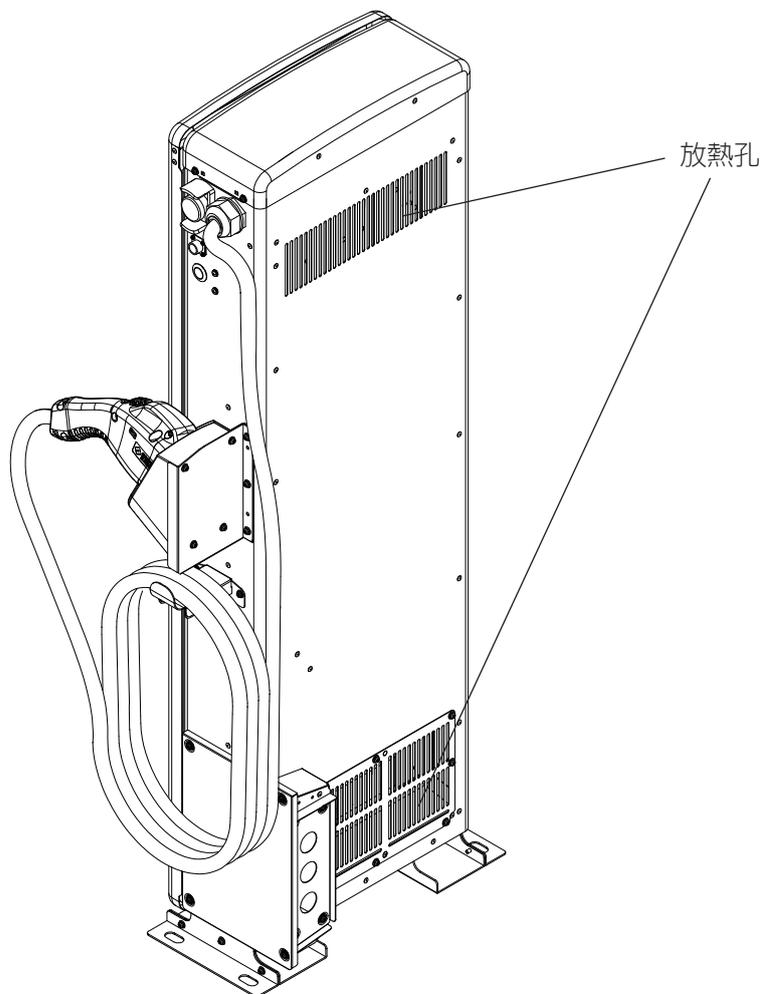
点検とお手入れのしかた

■ 通常の点検

- 事故を防止するため、下記点検を必ず行ってください。

点検項目

放熱孔が、ほこりや物でふさがっていませんか。



対処方法

必ずV2Hユニットの運転を停止させ、機器の温度が完全に冷えてから、「お手入れのしかた」(下記)にしたがって、ほこりや物を取り除いてください。

※起動時や充放電電力が大きいときに、運転音が少し大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
使用環境、充放電の動作状況などにより、劣化の速度が異なります。

■ お手入れのしかた

V2Hユニットの表面が汚れたときは、乾いた布などでからぶきをしてください。

- ご注意** ● ベンジン、シンナーや油系の洗剤を使用しないでください。
また、水をかけないでください。

よくあるご質問

メッセージコード【g***】が表示された

商用系統に関するエラーです。

商用系統の品質が不安定になったり、停電（瞬時停電も含む）が発生した場合に表示されます。

10分程度お待ちいただいても表示が消えない場合や頻発する場合はご契約の電力会社にご相談ください。

メッセージコード【E***】が表示された

V2Hユニット内部のエラーです。

しばらく待ってもエラーが消えない場合は、弊社ご相談窓口メッセージコードをお知らせください。

CTセンサの取付方法

取付工事説明書をご参照ください。取付工事説明書について、ご購入いただきました販売店様へのご相談をお願い致します。

電源切替ボックスの接続方法

電源切替ボックスの取付工事説明書をご参照ください。

センサーユニットは必須ですか？

センサーユニットは売買電力量を取得します。

車両に蓄えた電力を放電する際に放電した電力を売電しないように逆潮流防止検出機能を搭載しています。

逆潮流防止検出機能はセンサーユニットを使用するため、センサーユニットは必須です。

連系協議、設備認定について教えてください

連系協議については連系する一般送配電事業者に、事業計画認定については再生可能エネルギー電子申請サイトやJPEA代行申請センター等へにお問合せください。当社は申請に必要なV2Hユニット資料をご用意いたします。

お問い合わせは弊社製品お取扱店へお願い致します。

連立立会いはしてもらえますか？

通常、連立立会いはメーカーで行う必要はございません。

お買い求めの販売店様にご相談をお願い致します。

不具合対応を依頼したい

弊社ではお客様への出張修理対応におきまして、販売店様を通じてお申込みいただくこととなっております。

お手数ですが、ご購入いただきました販売店様へのご相談をお願い致します。

自動切替器からカチカチ音がする

車両に蓄えた電力を放電する際に放電した電力を売電しないように逆潮流防止検出機能を搭載しております。

このため、V2Hユニットが連系放電運転中にお使いの電化製品の消費電力が急激に低下した場合、放電電力が追従しきれず逆潮流防止機能が働いてしまう場合があります。

逆潮流防止機能が働きますと、V2Hユニットは一時的に停止し、すぐに連系準備中となり、連系運転を再開します。

自動切替器はV2Hユニットが停止した際と運転を再開した際にそれぞれ切り替わりますので、自動切替器から切り替え音が聞こえます。

この動作は機器の異常ではなく、保護動作ですので安心してご使用下さい。

夜間に停電になります（契約ブレーカ、スマートメーターが切れます）

夜間に充電モードなどの強制充電運転を行いますと、最大6.6kW（200V-33A）で充電を行います。例としてお客様宅の電力契約が7kVAで6.6kW充電運転している最中に400W以上消費する電化製品を使用すると契約容量を超えるため契約ブレーカ（あるいはスマートメーター）が遮断します。

（エコキュートの運転と強制充電の時刻が重なっている場合は発生しやすい状況になります）

契約アンペア設定の変更をお願いします。（契約アンペアの設定方法は取付工事説明書を参照ください）

・電力契約容量の契約内容見直しを行う。

製品が浸水・水没した場合の対処方法を教えてください

製品が浸水・水没した場合またはその形跡がある場合、感電のおそれがあるため、製品に近付かず、絶対に触れないようにしてください。お手数ですが、ご購入いただきました販売店様へのご相談をお願い致します。

V2Hユニットを操作しても動作をしない

連系準備中と表示されている状態には「エラーからの復帰状態」が含まれています。
エラーから復帰して運転中になるまではV2Hユニットを操作しても、操作を受け付けません。
V2Hユニットの操作をする場合は運転中になってから、再度操作をして下さい。

V2Hユニットが待機状態になる

V2Xモード（または充電モード）による充電操作開始直後に待機状態になることがあります。
車両が要求する充電電力より少ない充電しかできない場合、自動でV2Hユニットが待機状態になることがあります。
その場合は、契約アンペア設定の見直しや宅内負荷を減らしてから、再度充電操作をして下さい。

V2Xモード中に車両の電池が減っている

V2Xモード中はV2Hユニットの待機電力が発生します。
充放電指令が無い場合はV2Hユニットと車両が通信している状態が続きますので、車両電池が消耗します。

放電時間帯でも充電する

V2Xモードを選択時は各機器の起動処理を行っているので一時的に放電時間帯でも充電動作することがあります。

充放電コネクタを接続しているのにコネクタロック・充電・放電ができない

充放電コネクタが車両にしっかりと接続されていない可能性があります。
再度コネクタの抜き差しを行い、「カチッ」と音がするまで車両の充放電プラグに挿し込み、確実に接続されていることを確認してください。

最新の「よくあるご質問」はこちらにも掲載されていますので合わせてご参照ください。

<https://www.enetelus.jp/faq.html>



仕様

■V2Hユニット

		EPJ-S60EV
車両接続部 (直流)	入出力動作電圧範囲	DC150-450V
	充電電力	6.0kW(※1)
	放電電力	6.0kW(※1)
	最大入出力電流	20A
連系入出力 (交流)	定格入出力電圧	単相3W+PE AC101/202V
	定格出力電流	27.2A
	定格出力電力	5.5kW
	最大入力電流	32.7A
	最大入力電力	6.6kW
	定格出力周波数	50/60Hz
	定格電力変換効率	92%以上
自立出力	出力電圧	単相3W AC101/202V
	定格出力周波数	50/60Hz±1%
	最大出力	電源切替ボックス：5.5kVA(※2) 自立専用コンセント：1.5kVA(※3)
騒音(定格)		40dB以下
使用環境温度範囲		-20-45℃
使用環境湿度範囲		90%RH以下(結露なきこと)
質量		75kg
外形寸法		幅445mm×高さ1450mm×奥行198mm (据置き脚を含む、突起部は除く)
充放電コネクタ付ケーブル長		7.5m
保護等級		IP55
保護クラス		I

※1：使用環境温度範囲であっても車両電池の状態によっては電力が低下します。

※2：片相2.75kVA

※3：自立専用コンセントを片相のみに接続した場合

取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
最新版は当社ホームページからご覧になれます。
当社カタログダウンロードページ：<https://www.enetelus.jp/download.html>



V2Hユニットの対応車種はこちらに掲載されています。
https://www.enetelus.jp/eibsv/v2h/compatible_vehicle.html



ダイヤゼブラ電機株式会社

〒532-0026 大阪市淀川区塚本 1 丁目 15 番 27 号

DOC01-ZH22011-BJ